



留学の手引き 2024

Study Abroad Guide



学習院大学 国際センター

International Centre, Gakushuin University

East Building No.1, 1-5-1 Mejiro, Toshima-ku, Tokyo 171-8588 JAPAN

Tel : +81-3-5992-1024 Fax : +81-3-5992-1025

E-mail : guic-off@gakushuin.ac.jp

URL : <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/>

Opening hours :

Mon to Fri 8:40 - 16:45 / Sat 8:40 - 12:30

INDEX

| | |
|--------------------------|----|
| I 「留学しよう」と思ったら | 2 |
| II 留学制度 | |
| 1. 1年間など長期の留学..... | 3 |
| 2. 外国語学校等への留学..... | 14 |
| 3. 学習院大学主催プログラムへの参加..... | 16 |
| III 留学の準備 | |
| 1. 学内の手続き..... | 20 |
| IV 奨学金 | |
| 1. 学内の奨学金..... | 27 |
| 2. 学外の奨学金..... | 28 |
| V 語学能力テスト | |
| 1. テストの概要..... | 30 |
| 2. テスト対策..... | 31 |
| VI 留学情報提供機関 | |
| 1. 国際センター..... | 32 |
| 2. 学外の機関..... | 32 |
| 3. その他..... | 33 |
| VII 渡航後の注意 | |
| 1. 外務省による渡航登録サービス..... | 34 |
| 2. 安全対策..... | 34 |
| VIII 留学経験を活かすために | 35 |
| IX 直近の留学者数..... | 36 |

学部・研究科別留学者数/国・地域別留学者数/渡航先国別「海外短期研修奨学金」受給者数

はじめに

留学の目的！？

留学に興味があっても、留学の目的をはっきりさせるのは案外むずかしいものです。留学を希望する学生のみなさんと話していても、「私は〇〇のために留学したい!」、「私は留学をとおして△△を得たい」、「将来◇◇になるために、私には留学が必要です。」と言い切れる人は多くありません。では、決まった目的がないのに、留学を計画するのは問題でしょうか？ まったくそんなことはありません。まず、留学について調べてみましょう。

留学とひとことで言っても、さまざまなものがあります。大学間協定に基づく協定留学、協定外での学科履修や語学習得のプログラムで1学期から1年にわたるものから、短期語学研修やインターンシップなど多様です。渡航先も、英語圏だけでなくヨーロッパやアジアの国々でも英語で学べる大学は多くあります。それぞれのプログラムの内容や費用を調べていくうちに、留学について具体的なイメージが持てるでしょう。

みなさんの留学のイメージの解像度を上げる最初のステップが、この「留学の手引き」です。先輩たちが、協定留学や短期語学研修でどのような時間を過ごして何を得たのか、あるいは将来のキャリアパスと留学の関係をどう考えたかなど、多くの体験談が編まれています。こうして留学のイメージの解像度を上げていけば、「外国に行ってみたい」、「外国語が上手になりたい」だけではない、みなさん自身にとっての留学の目的がきっと見つ

かります。

ひとつ気をつけてほしいのは、留学には計画的な準備が必要な点です。とくに協定留学では、おおよそ渡航の1年半前から準備を始めることを勧めます。渡航先の大学が定める語学要件を満たせるように準備し、語学検定試験などを受験しておかなければなりません。また、短期語学研修にも、渡航前に語学力を高めて参加できれば、より豊かな経験ができます。

海外渡航が厳しく制限されたコロナ禍を経て、私たちは留学の貴重さを再認識しました。2023年度に国際センターで扱った協定留学の派遣学生は37名、短期研修参加者は155名で、コロナ禍以前の水準に戻っています。このメッセージを読んできたみなさんが、留学について調べ、自分なりの目的を定めて、海外に赴いてくれることを期待しています。



国際センター所長・
国際社会科学部教授

久保 公二

I 「留学しよう」と思ったら

海外留学が十分な成果を上げられるかどうかは、事前の計画や準備の質にかかっています。漠然とした憧れから更に一歩進み、具体的な目標のある留学を目指しましょう。

留学を「希望」してから「実現」するまでの間に、少なくとも以下の点について、自分自身でよく考え、十分に情報を収集し、適切な判断・選択を行うことが重要です。

| | |
|--------------|--|
| 留学の動機・目的は何か？ | 何のために留学し、そこで何を学び、留学後それをどう生かしたいのか、人生の長期計画をしっかりと立て、その将来計画の中での留学目的を明確にしましょう。 |
| 留学の準備は万全か？ | 留学の目的が達成できるよう、最新の情報を徹底的に収集し、十分検討した上で、留学の内容（留学先・留学期間・留学時期等）を決定しましょう。 |
| 語学力・学力は十分か？ | 語学を学ぶための留学の場合は別として、学習・生活のための語学力は、留学の必要最低条件です。また、一般的な学力はもちろん、留学先での専攻分野に関しても、日本でしっかり知識を身につけておきましょう。 |
| 費用の準備は十分か？ | 留学の内容がある程度決まったら、おおよその留学費用を計算し、その準備方法について検討しましょう。留學生のアルバイトを禁止している国も多く、留学先で奨学金を得ることも困難です。経済的な事情から途中で留学を断念することがないように、資金計画をしっかりと立てましょう。 |
| 心身ともに健康であるか？ | 現地で心身ともに健康で過ごせるような準備（例えば、規則正しい生活、体力作り、孤独に耐えうるメンタル面の強化）をしましょう。また、海外での医療費は高額になる場合があります。すべての病気やケガが保険の対象となるわけではなく、渡航前に病気等があれば、完治してから行きましょう。特に初めて親元を離れ、一人暮らしをする場合はしっかり準備をしましょう。 |

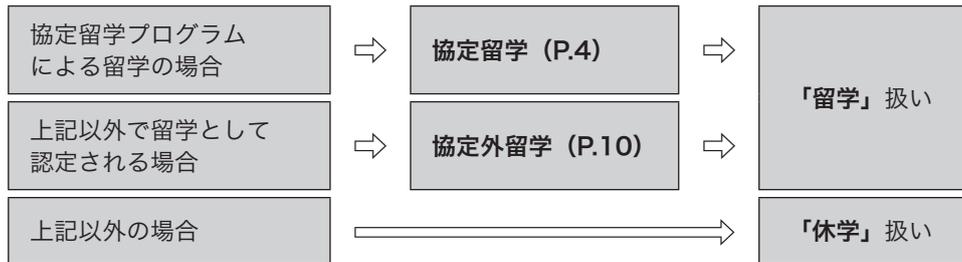
Ⅱ 留学制度

一口に留学と言っても、海外の大学で専門分野の授業を履修するものや語学習得を目指すもの、期間も数週間から半年以上の長期まで、様々な種類があります。

自分にとって最も適したタイプの留学はどういったものかよく考え、計画を立てましょう。

1 1年間など長期の留学

1年間など長期の留学の場合、本学ではおおよそ次の3パターンに分かれ、学籍上、「留学」か「休学」で扱われます。



※すべて上記にあてはまるとは限りません。留学を考えている場合、下表を参考に事前に必ず関連部署に相談してください。

各パターンの違いについては、次のようになります。

| | 「留学」 ^{※1} | | 「休学」 |
|-------------|---|---|---|
| | 協定留学 | 協定外留学 | |
| | 協定留学プログラムにより派遣される場合。協定校でもプログラム以外で留学する場合は協定外留学となる。 | 協定留学プログラム以外で、留学として認定される場合。各学部・研究科で認定基準が異なる。 | 左記以外の場合 |
| 留学の手続き | 出願手続きは国際センターを通して行う。 ^{※2} | すべて自分で行う。 | |
| 留学願・休学願提出窓口 | 学生センター教務課 | | |
| 留学期間 | 1年間以内 | 原則として1年間以内。特別な理由がある場合には、さらに1年を限度として延長が可能。 | 3ヶ月以上1年以内。特別な理由により、さらに1年間（博士後期課程では2年間。ただし、1回の願出について1年以内とする。）の休学が可能。 |
| 在学年数との関係 | 留学期間は在学年数に算入する。 | | 休学期間は在学年数に算入しない。 |
| 単位認定 | 所属学部の教授会で承認の上、学部学生60単位・大学院学生10単位まで認定可能。 ^{※3} | | 不可 |
| 本学学費の減免 | 派遣先大学の学費が全額免除される場合は、留学期間中の本学の学費を全額納入する。 | 留学先の学費が発生する場合、留学・休学期間中の本学の授業料・施設設備費は、在籍料を除き、免除する。 | |

※1 国際社会科学部を始め、学部・研究科独自の留学に関する情報は、学部・研究科事務室に問い合わせること。

※2 「学部間協定」(P.10)に基づく留学は、各学部等が窓口となり、留学の手続きも各学部等を通して行う。

※3 単位認定を希望する学生は、学部によって認定基準が異なる場合があるため、渡航前に教務委員に確認すること。

具体的な手続きや、「留学」として認められるかどうかの基準については、「学内の手続き」(P.20～)をお読みください。

1 協定留学プログラム

協定留学プログラムとは、本学が海外の大学と締結した協定をもとに、双方の学生を交換するプログラムです。このプログラムにより協定校へ派遣される場合は、前述の「協定留学」に該当します。

派遣先や派遣人数など内容は、毎年若干異なります。なお、協定校へは協定留学プログラム以外で留学することもできますが、その場合は「協定外留学」となり、国際センターを通さずに個人で直接先方へ出願します。この場合は先方への出願前に国際センターに必ずご相談ください。

① 協定留学のメリット

- ・ 本学の代表として派遣される。
- ・ 協定校は、本学が審議の上で協定を締結している大学なので一定の水準を満たしており、安心して留学ができる。
- ・ 派遣先への出願などの事務手続きは国際センターが窓口となる。
- ・ 派遣先で修得した単位の認定を願い出ることができる。
- ・ 本学に授業料を納め、派遣先の授業料は免除される（一部例外あり）。
- ・ 現地の宿舎において、派遣先の学生寮が斡旋される場合がある。
- ・ 学内奨学金「学習院大学海外留学奨学金」(P.27)だけでなく、交換留学を対象とした学外の奨学金に応募でき、奨学金を得るチャンスが広がる。
- ・ 先輩達から現地に密着した情報を得ることにより、留学に関する不安が緩和される。
- ・ 国際センターが行う学内の国際交流関係イベントへの参加を通して、留学生の友人がたくさんできる。
- ・ 原則として交換留学となっているため、派遣先において、本学への留学経験者や日本への留学を考える現地学生と知り合う機会が多い。

② 派遣学生の募集

協定留学プログラムによる派遣学生の募集・選考は、下記のとおり、派遣先別に年2回行っています。募集要項の配布及び説明会等については、国際センターのホームページ、掲示及びG-Port等でお知らせしています。

| | 第1期 | 第2期 |
|-----------|--------------|--------------|
| 対象校 | 韓国、台湾、オセアニア等 | アジア、アメリカ、欧州等 |
| 募集要項配布 | 5月頃 | 10月頃 |
| 出願締切 | 6月頃 | 11月頃 |
| 選考 | 7月頃 | 12月頃 |
| 留学期間（学籍上） | 次年度の4月～翌3月 | 次年度の10月～翌9月 |

③ 派遣学生の選考方法等

派遣学生は、本学の代表として派遣するにふさわしい人物であることが求められます。派遣学生の選考方法と選考基準は、派遣先により多少異なりますが、おおむね次のとおりです。

選考方法 書類審査（第1次選考）、面接審査（第2次選考）

選考基準 留学計画、学業成績・語学能力、人物・国際性の観点から総合的に審査

毎年40名前後の学生がこのプログラムを利用して留学しています。応募倍率は年度によっても差がありますが、多い大学で約3～4倍、少ない場合で1～2倍程度です。

④ 派遣学生を目指す皆さんへ

・語学力の向上に努める

協定留学を目指すのであれば、まずは、語学の学習を始めましょう。

協定留学は基本的には語学留学ではないので、相応の語学力を有していることが前提になります。応募時には、募集要項に記載されている語学力が必要になるので、TOEFL、IELTS (P.30)などは計画的に受験し、高得点のスコア取得を目指しましょう。英語圏以外の大学についても、出願時に当該言語の履修証明書や語学能力試験証明書等 (P.30～P.31)の提出が求められます。協定留学を目指す場合は、予め履修計画や試験日程を確認し、準備をしてください。

・語学以外の勉強もおろそかにしない

派遣学生選考の第1次選考は成績評価を含む書類審査なので、大学の授業をしっかり受けましょう。

また、協定留学の場合、留学先では自分の専門の学習が中心になるので、留学前にその分野の知識を十分に吸収しておくかどうかで、留学の成果が大きく変わります。

・留学の計画を綿密に立てる

協定留学の募集は年2回です。出願チャンスを逃さないよう、留学の計画をしっかり立てましょう。協定留学の場合、留学希望年度の前年度に応募する必要があります。

また、協定留学だからといって、4年間で卒業できることが保証されているわけではありません。応募時には所定の語学力を備えていることも必要です。したがって、早めの準備を始めることが留学実現への近道です。

・情報をしっかり集める

具体的な留学のイメージを描きましょう。協定留学の場合、国際センターで先輩達の「留学状況報告書」を閲覧できる他、6月と10月には「留学フェア」も開催しますので、提供される情報は充実しています。

留学先についてしっかり調べ、自分の思い描く留学にぴったりの派遣先を選びましょう。

参考

2024年度(2023年度中募集) 協定留学プログラム派遣学生募集要項(第1期・第2期)

※過年度の情報を参考に掲載します。今後の募集情報については国際センターに確認すること。

1. 出願資格

- ・心身ともに健康で、本学学生の代表として、所定の留学期間を全うできる者
- ・留学期間終了後本学に戻り、学業を継続する者及び本学の学位を取得する者
- ・派遣先大学の応募条件に見合う者
- ・保証人の同意が得られる者

2. 派遣先大学 ⇒ P.8、9参照

3. 出願書類

- ・オンライン申請書
- ・G-Port成績照会ページのプリントアウト
- ・推薦状(指定様式)
- ・語学能力を証明する書類

4. 出願締切

第1期 2023年6月30日(金)、第2期 2023年11月27日(月)

5. 選考方法

- ・書類審査(第1次選考)
結果発表: 第1期 2023年7月6日(木)、第2期 2023年12月7日(木)
- ・面接審査(第2次選考(日本語および派遣先の言語による面接))
面接日時: 第1期 2023年7月14日(金)、第2期 2023年12月13日(水)
選考基準: ①留学計画②学業成績・語学能力③人物・国際性の観点から総合的に審査

6. 結果発表

第2次選考の結果は、7月末日/12月末日までに個人宛にメール又は郵送により通知。

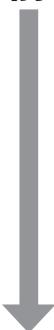
長期留学までのタイムテーブル

大学への留学の場合、一般的には、準備を始めてから実際に渡航するまで、少なくとも1年半以上の準備期間が必要だと言われています。早めに準備を開始することが、成功する留学への第一歩です。

1
年
半
前

| | 一般的な留学の流れ | 特に協定留学の場合 |
|---|--|--|
| 1 | <p>情報の収集・検討 留学の準備は、留学に関する様々な情報を集めることから始まります。まずは、自分の留学の目的や希望にそって、幅広い情報を収集しましょう。</p> <p>情報の収集方法は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志望大学、留学情報雑誌や留学関係のホームページやパンフレットを参考にする。 ・各国の公的機関（在日大使館や教育機関）を利用する。 ・留学フェアなどに参加する。 <p>どんな情報を収集したらよいか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の種類（大学or外国語学校、国公立or私立等）と修業年限について ・取得できる学位や資格について ・認定された学校であるかどうかについて ・宿舎について ・入学資格や出願方法について ・学費や奨学金について ・外国人の受入体制や大学周辺の治安状況について ・現地の医療事情について <p>指導教授・家族・友人などへの周知 自分が留学を考えていることや、留学が決まった場合、どこの国へどのくらいの期間渡航する予定であるか等、身の周りの人には早めに話を始め、了解をとっておきましょう。</p> | <p>国際センター主催の「留学フェア」（6月および10月）等へ参加（協定以外でも、留学に興味のある方はどなたでも参加してください）</p> <p>「留学状況報告書」の閲覧 ※国際センターに設置しています。</p> |
| 2 | <p>語学能力テスト等の受験開始 大学等への留学の場合、通常出願時にTOEFL等、語学試験のスコアの提出が求められます。1度の受験で十分な得点が得られるとは限らないので、早めに受験を開始し、何度か受験し、納得できるスコアを取得しましょう。</p> | |
| 3 | <p>出願先の決定 集めた資料を検討し、出願先を優先順位をつけて選択します。可能であれば、出願先の大学が主催する短期語学研修等に、長期休業を利用して参加することも、選択の一助になります。</p> <p>大学を選ぶポイントは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のやりたいことが学べるかどうか？ ・興味があったり、好きな国であるか？ ・自分の計画通りの期間、留学ができるかどうか？ ・大学の規模や環境はどうか？ ・留学費用は予算内かどうか？ | |

1
ヶ
前



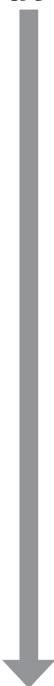
| | |
|--|--|
| 4 出願 選考は、一般的に書類審査で行われるため、出願書類は慎重に準備することが重要です。また、選考は複数回行われることがありますが、早めの出願が有利です。出願書類はすべてコピーを取り、送付日を記録しておくこと。 出願書類にはどんなものがあるか？ <ul style="list-style-type: none">・ 願書（自己PRを心がけて作成のこと）・ 成績証明書、在学証明書・ 推薦状・ 財政能力証明書（銀行や郵便局で入手）・ テストスコア（TOEFL、IELTS等）・ 同意書（家族等の了解は必ず得るようにしましょう） | <p>①5月②10月</p> <ul style="list-style-type: none">・ 協定留学プログラム募集要項配布・ 応募説明会参加 <p>①6月②11月</p> <ul style="list-style-type: none">・ 協定留学プログラム出願・ 書類選考 <p>※①＝第1期、②＝第2期</p> |
|--|--|

6
ヶ
月
前



| | |
|---|--|
| 5 留学先の決定 通常、出願から約1～3ヶ月後に結果が通知されます。留学する大学が決まったら、留学先および本学での事務手続きを進めます。複数校から入学許可を得ている場合は、入学する意志のない大学へ、速やかに入学辞退を伝えること。 | <p>①7月②12月</p> <ul style="list-style-type: none">・ 面接審査・ 派遣学生決定 <p>※①＝第1期、②＝第2期</p> |
|---|--|

2
ヶ
月
前



| | |
|--|---|
| 6 渡航準備 留学先が決定したら、渡航準備を始めましょう。 渡航準備にはどんなものがあるか？ <ul style="list-style-type: none">・ パスポートおよびビザの申請・ 航空券の手配・ 海外旅行保険の加入 標準的な1年間の保険料は平均15万円。国や学校によっては、留学生に対し、指定の保険に加入することを義務づけている場合があるので、留学先に確認し、保険の適用範囲や内容に過不足がないようにしましょう。・ 予防接種 国によっては予防接種が必要になります。詳しいことは厚生労働省検疫所（https://www.forth.go.jp/）を参照のこと。・ その他、荷物の送付、外貨購入等・ 家族・友人等への、連絡先・連絡方法の伝達 日本についての説明能力は十分か？ <p>留学生は「小さな外交官」でもあります。歴史、文化等、日本について説明ができるよう準備しましょう。</p> 留学先の国・地方についての予備知識は十分か？ <p>訪問国について認識を深め、多くの友人を得ることも留学の目的の一つなので、事前に調査・研究を行い、十分な予備知識を持って出かけましょう。</p> | <p>①7月～12月 ②1月～6月</p> <ul style="list-style-type: none">・ オリエンテーション参加（4または5回） <p>※①＝第1期、②＝第2期</p> |
|--|---|



令和6（2024）年度協定留学プログラム募集先大学一覧（参考）

過年度情報の抜粋を参考に掲載します（募集要項等はG-Port に通年掲載中です）。

最新の募集情報については、国際センターに確認してください。

第1期 留学期間（学籍簿上）：2024年4月からの留学

| No | 国 | 大学名 | 募集人数 | 出願言語 | 期間 | GPA要件 | 英語要件（各スキルの最低スコア） | | | 現地語要件 | | 志願者数 | 合格者数 |
|----|---------|------------------|------|-----------------|------------|-------|--------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|-------------------|------|------|
| | | | | | | | TOEFL iBT | IELTS | その他 | 必要な語学レベルなど | 履修要件 | | |
| 1 | 韓国 | 慶北大学校 | 1 | 韓国語 or 英語 | 1年 /半年期 | 2 | 61 | 5.0 | TOEFL ITP 500 | TOPIK/ハングル 能力検定試験の 成績表を提出 | 朝鮮語B・C (初級) 修了 | 3 | 2 |
| 2 | | 東国大学校 | 2 | 韓国語 or 英語 | 1年 /半年期 | 2 | 61 | 5.0 | TOEFL ITP 500 | TOPIK/ハングル 能力検定試験の 成績表を提出 | 朝鮮語B・C (初級) 修了 | 4 | 2 |
| 3 | | 仁荷大学校 | 1 | 韓国語 or 英語 | 1年 /半年期 | 2.22 | 71 | 5.5 | Duolingo English test 90 | TOPIK/ハングル 能力検定試験の 成績表を提出 | | 1 | 1 |
| 4 | 台湾 | 東呉大学 | 1 | 中国語 or 英語 | 1年 /半年期 | 2 | 61 | 5.0 | TOEFL ITP 500 | HSK 3級/ 中国語検定3級 | 中国語B・C (初級) 修了 | 3 | 2 |
| 5 | | 淡江大学 | 1 | 中国語 or 英語 | 1年 /半年期 | 2 | 61 | 5.0 | TOEFL ITP 500 | HSK 3級/ 中国語検定3級 | 中国語B・C (初級) 修了 | 2 | 2 |
| 6 | | 国立中山大学 | 2 | 中国語 or 英語 | 1年 /半年期 | 2 | 61 | 5.0 | TOEFL ITP 500 | HSK 3級/ 中国語検定3級 | 中国語B・C (初級) 修了 | 4 | 2 |
| 7 | オーストラリア | オーストラリア 国立大学 | 2 | 英語 | 1年 | 3 | 80 (R:18 L:18 S:20 W:20) | 6.5 (R:6.0 L:6.0 S:6.0 W:6.0) | | | | 2 | 2 |
| 8 | | ニューサウスウェ ルズ大学 | 2 | 英語 | 1年 /半年期 | 3 | 90 | 6.5 | | | | 3 | 2 |
| 9 | | マードック大学 | 1 | 英語 | 1年 | 2 | 68 | 5.5 (R:5.5 L:5.5 S:5.5 W:5.5) | TOEFL ITP 520 | | | 3 | 1 |

第2期 留学期間（学籍簿上）：2024年10月からの留学

| No | 国 | 大学名 | 募集人数 | 出願言語 | 期間 | GPA要件 | 英語要件（各スキルの最低スコア） | | | 現地語要件 | | 志願者数 | 合格者数 |
|----|----|-----------|------|-----------------|----|------------------|------------------|-------------------------------------|------------------|---------------------------------|-------------------|------|------|
| | | | | | | | TOEFL iBT | IELTS | その他 | 必要な語学レベルなど | 履修要件 | | |
| 1 | 中国 | 北京大学 | 1 | 中国語 or 英語 | 1年 | 2.5 | 90 | 6.0 | | HSK 3級/ 中国語検定3級 | 中国語B・C (初級) 修了 | 0 | 1 |
| 2 | | 北京外国語大学 | 1 | 中国語 or 英語 | 1年 | 2 | 79 | 6.0 (R:6.0 L:6.0 S:6.0 W:6.0) | | HSK 3級/ 中国語検定3級 | 中国語B・C (初級) 修了 | 0 | 0 |
| 3 | | 香港中文大学 | 3 | 中国語 or 英語 | 1年 | 3 | 71 | 6.0 | | HSK 3級/ 中国語検定3級 | 中国語B・C (初級) 修了 | 1 | 0 |
| 4 | 韓国 | 慶北大学校 | 2 | 韓国語 or 英語 | 1年 | 2 | 61 | 5.0 | TOEFL ITP 500 | TOPIK中級/ハ ングル能力検定試 験4級 | 朝鮮語B・C (初級) 修了 | 1 | 1 |
| 5 | | 東国大学校 | 2 | 韓国語 or 英語 | 1年 | 2 | 61 | 5.0 | TOEFL ITP 500 | TOPIK/ハングル 能力検定試験の 成績表を提出 | 朝鮮語B・C (初級) 修了 | 0 | 0 |
| 6 | | ソウル市立大学校 | 1 | 韓国語 or 英語 | 1年 | 2 | 61 | 5.0 | TOEFL ITP 500 | TOPIK/ハングル 能力検定試験の 成績表を提出 | 朝鮮語B・C (初級) 修了 | 1 | 1 |
| 7 | | 仁荷大学校 | 1 | 韓国語 or 英語 | 1年 | 2.22 | 71 | 5.5 | | TOPIK/ハングル 能力検定試験の 成績表を提出 | 朝鮮語B・C (初級) 修了 | 0 | 0 |
| 8 | | 高麗大学校 | 1 | 韓国語 or 英語 | 1年 | 2.5 | 80 | 6.0 | | TOPIK2級程度 | | 1 | 1 |
| 9 | 台湾 | 東呉大学 | 1 | 中国語 or 英語 | 1年 | 2 | 61 | 5.0 | TOEFL ITP 500 | HSK 3級/ 中国語検定3級 | 中国語B・C (初級) 修了 | 0 | 0 |
| 10 | | 淡江大学 | 1 | 中国語 or 英語 | 1年 | 2 | 61 | 5.0 | TOEFL ITP 500 | HSK 3級/ 中国語検定3級 | 中国語B・C (初級) 修了 | 1 | 1 |
| 11 | | 国立中山大学 | 2 | 中国語 or 英語 | 1年 | 2 | 61 | 5.0 | TOEFL ITP 500 | HSK 3級/ 中国語検定3級 | 中国語B・C (初級) 修了 | 0 | 0 |
| 12 | タイ | チュラロンコン大学 | 2 | タイ語 or 英語 | 1年 | 学部 により 異なる | 79 | 6.5 (R:6.0 L:6.0 S:6.0 W:6.0) | | 基本的なタイ語 の能力を有する 者 | | 1 | 0 |

| No | 国 | 大学名 | 募集人数 | 出願言語 | 期間 | GPA要件 | 英語要件 (各スキルの最低スコア) | | | 現地語要件 | | 志願者数 | 合格者数 |
|----|--------|------------------------|------|--------------------|----|-------|-------------------|---|-----|---|-------------------------|------|------|
| | | | | | | | TOEFL iBT | IELTS | その他 | 必要な語学レベルなど | 履修要件 | | |
| 13 | アメリカ | ユタ工科大学 (旧ディクシー州立大学) | 2 | 英語 | 1年 | 2 | 68 | 6.0 | | | | 5 | 2 |
| 14 | | トロイ大学 | 2 | 英語 | 1年 | 2 | 61 | 5.5 | | | | 3 | 2 |
| 15 | | ネブラスカ大学 カーニー校 | 2 | 英語 | 1年 | 2 | 61 | 5.5 | | | | 4 | 2 |
| 16 | イギリス | イーストアングリア 大学 | 3 | 英語 | 1年 | 2.75 | — | IELTS (UKVI academic) 6.0 (R: 5.5 L: 5.5 S: 5.5 W: 5.5) | | | | 0 | 0 |
| 17 | | エディンバラ大学 | 2 | 英語 | 1年 | 3.0 | — | IELTS (UKVI academic) 6.5 (R: 5.5 L: 5.5 S: 5.5 W: 5.5) | | | | 2 | 2 |
| 18 | | オックスフォード・ ブルックス大学 | 2 | 英語 | 1年 | 2.8 | — | IELTS (UKVI academic) 6.0 (R: 6.0 L: 5.5 S: 5.5 W: 6.0) | | | | 2 | 2 |
| 19 | アイスランド | アイスランド大学 | 1 | 英語 | 1年 | 2 | 79 | 6.5 | | | | 0 | 0 |
| 20 | エストニア | タルトゥ大学 | 2 | 英語 | 1年 | 2 | 75 | 5.5 (R: 5.5 L: 5.5 S: 5.5 W: 5.5) | | | | 1 | 1 |
| 21 | リトアニア | ヴィリニウス大学 | 2 | 英語 | 1年 | 2 | 75 | 5.5 | | | | 2 | 2 |
| 22 | ノルウェー | オスロ大学 | 2 | ノルウェー語 or 英語 | 1年 | 2 | 学部60 大学院90 | 学部5.0 大学院6.5 | | 出願時に要確認 | | 11 | 2 |
| 23 | | ノード大学 | 1 | 英語 | 1年 | 2 | 60 | 5.0 | | | | 0 | 1 |
| 24 | ポーランド | ヤギェウォ大学 | 2 | 英語 | 1年 | 2 | 75 | 5.5 | | | | 1 | 1 |
| 25 | ドイツ | マンハイム大学 | 2 | ドイツ語 or 英語 | 1年 | 2 | 80 | 6.0 | | ドイツ語技能検定3 級/ゲーテ・インス ティテュート・ドイ ツ語検定試験A2 *CEFR A2 | ドイツ語 R・C (中級) 修了 | 3 | 2 |
| 26 | | バイロイト大学 | 2 | ドイツ語 or 英語 | 1年 | 2 | 75 | 5.5 | | ドイツ語技能検定3 級/ゲーテ・インス ティテュート・ドイ ツ語検定試験A2 *CEFR A2 | ドイツ語 R・C (中級) 修了 | 1 | 2 |
| 27 | オーストリア | ザルツブルク大学 | 2 | ドイツ語 or 英語 | 1年 | 2 | 75 | 5.5 | | ドイツ語技能検定3 級/ゲーテ・インス ティテュート・ドイ ツ語検定試験A2 *CEFR A2 | ドイツ語 R・C (中級) 修了 | 1 | 1 |
| 28 | フランス | リヨン第二大学 | 2 | フランス語 | 1年 | 2 | — | — | | 実用フランス語技能 検定試験準2級/ DELF A 2 | フランス語 R・C (中級) 修了 | 2 | 2 |
| 29 | | パリシテ大学 (旧パリ・パリ第七大学) | 2 | フランス語 or 英語 | 1年 | 2 | 90 | 6.5 | | DELF B2/ DALF C1・C2 | | 1 | 1 |
| 30 | | パリ第十大学 | 2 | フランス語 | 1年 | 2 | — | — | | TCF B1/ DELF B1 | | 1 | 1 |
| 31 | | リヨン政治学院 | 2 | フランス語 or 英語 | 1年 | 2 | 80 | 6.0 | | TCF B1/ DELF B1 | | 1 | 2 |
| 32 | | ストラスブール大学 | 2 | フランス語 | 1年 | 2 | — | — | | TCF B1/ DELF B1/ DALF B1/ TEF B1 | | 2 | 2 |
| 33 | | パリ東大学 クレティユ校 | 2 | フランス語 or 英語 | 1年 | 2 | 出願時に要確認 | | | CEFR B2 level in French | | 0 | 0 |
| 34 | イタリア | 国立ナポリ東洋大学 | 2 | イタリア語 | 1年 | 2 | — | — | | 実用イタリア語 検定試験4級又 /CILSA2以上 | イタリア語 B・C (初級) 修了 | 0 | 0 |
| 35 | | ポローニャ大学 | 2 | イタリア語 or 英語 | 1年 | 2 | 72 | 5.5 | | 実用イタリア語 検定試験4級/ CILSA2以上 | イタリア語 B・C (初級) 修了 | 2 | 2 |
| 36 | | トリノ大学 | 2 | イタリア語 or 英語 | 1年 | 2 | 72 | 5.5 | | 実用イタリア語 検定試験4級/ CILSA2以上 | イタリア語 B・C (初級) 修了 | 1 | 1 |

注意点

- ・派遣人数は募集年度ごとに異なる場合があります。
- ・各協定校の応募資格、語学能力等の条件は変更の可能性があります。応募の際は、最新の募集要項を必ず確認してください。
- ・参考のため、過去の募集要項を国際センターホームページで公開しています。閲覧には国際センター事務室に掲示しているIDとパスワードが必要です。
- ・志望者数は第1希望のみ、合格者数は第1・2希望両方の数字です。
- ・募集人数は通年での人数です。
- ・英語で授業を受ける場合は「英語要件」を、現地語で受ける場合は「現地語要件」を満たす必要があります。

2 学部間協定等での協定留学

本学の各学部（研究科）が、海外の大学の学部等と締結した「学部間協定等」をもとに留学する場合も「協定留学」の扱いとなりますが、国際センターの協定留学プログラムとは異なり、各学部（研究科）等が窓口となります。

なお、手続きや費用面等についても、国際センターの協定留学プログラムとは異なる場合がありますので、詳細や今後の募集については各学部・研究科にお問い合わせください。

協定校・提携校（学部・研究科間）

| 大学院／学部 | 協定・提携先 |
|----------------------|---|
| 政治学研究科 | カリフォルニア大学サンディエゴ校（アメリカ） グローバルリーダーシップインスティテュート メルボルン大学（オーストラリア） ディーキン大学（オーストラリア）* ニューサウスウェールズ大学（オーストラリア）* *上記2校はスタディ・アブロード・プログラム |
| 人文科学研究科 アーカイブズ学専攻 | 明知大学校（韓国） 記録情報科学専門大学院 ベトナム国立大学ハノイ校（ベトナム） 人文社会科学大学アーカイブズ学・オフィスマネジメント学部 |

3 協定外留学

① 協定外留学について

本学の協定留学プログラムや学部間協定留学によらないで、学生が自分で留学したい海外の大学等を自由に選び、本学に「留学願」を申請して正規の承認手続きを経て留学する場合は「協定外留学」と呼んでいます。「留学」として認定されるかどうかの基準については、「学内の手続き」（P.20～）をお読みください。

大学等の選択や出願および入学手続きなどは、すべて自分で行うこととなりますが、留学先の選択の幅は広がります。国際センターには留学に関する様々な資料がそろっていますので、それらを利用して調べることも、またスタッフに相談することもできます。

② 協定外留学の手続きについて

本学で「留学」の許可を受ける必要があります。留学することが決まったら、学生センター教務課で留学願の書式を入手し、所定の教員に確認の後、留学先の入学許可書と共に、学生センター教務課に「留学願」を提出してください。「留学願」は所属する学部（研究科）の教授会（研究科委員会）で審議され、承認されれば「留学」として認定されます。

詳細については、「『留学』の場合の手続き」（P.23）を参考にしてください。

③ 協定外留学のメリット

協定外留学のメリットは、何と言っても、選択の幅が広がり自分好みの留学を自分でアレンジできる点にあります。その他、「留学」扱いに伴う、下記のメリットがあります。

- ・ 留学期間は在学年数に算入されます。
- ・ 留学先で修得した単位については、教授会等の審議を経て、学部学生は60単位、大学院学生は10単位を限度として本学で修得したものとして認定される可能性があります。
- ・ 留学期間中の本大学における授業料・施設設備費は全額免除され、在籍料のみの納付となります。
- ・ 「学習院大学海外留学奨学金」（P.27）に申請することができます。

4 留学レポート（長期）

2023年度協定留学プログラムによる派遣学生のレポートを紹介します。

*学生の所属、在籍年次は留学開始時のものです。

留学先 韓国 東国大学校

文学部 心理学科3年 仲道 真理子

→ → → → → → → → → →

1. 留学先大学を選んだ理由

趣味で勉強していた韓国語を実際に使いたいという目的と、現地にいる韓国の方だけでなく様々な人と交流したいという目的から韓国留学を志望しました。東国大学はソウルという立地から今の韓国の状況を感じることができ、伝統的な大学であることから韓国の歴史や文化を学ぶのにも魅力的だったので、この大学を選びました。

2. 留学先での学習状況

全て韓国語で行う授業だったので、聞き取るのに一杯でした。そのため単語の勉強は必須でした。日本のサブカルチャーを学ぶ授業では、グループで中間発表があり韓国語でレジュメやスライドをみんなで準備したのがとても印象的です。日本について関心のある方と仲良くなるきっかけになったのでとても充実していました。

3. 留学先での生活状況

社交的な性格のため自分や日本に関心がありそうな人には話しかけていたからか、韓国だけでなく様々な国の留学生と知り合うことができました。一緒に多くの観光地に行ったり、カフェ巡りをしたりしました。また偶然カフェで知り合ったおばさまが留学生活中、私に多くのサポートをしてくださり本当に感謝しています。

4. 留学前の準備について

ビザの申請や大学への手続きなどは早めに行いました。一番大変だったことは、部屋探しです。先着により大学の寮に入ることができなかつたので、渡韓日の1ヶ月前くらいから急いで部屋探しを始めましたが、1週間前になっても決まらずとても焦りました。一人暮らしも初めてだったので、もう少し慎重に決めました。

5. 後輩へのメッセージ

「海外で生活する事は自分を成長させる大きな意義がある。」と言われても多くの不安から一歩を踏み出せない方もいるのではないかと思います。私も初韓国、初一人暮らしで緊張も不安もありましたが、留学生活で様々な価値観を知り、新しい人間関係に恵まれ大変貴重な経験ができました。皆さんの挑戦を応援しています！



留学先 イギリス イーストアングリア大学

法学部 法学科2年 志賀 百花

→ → → → → → → → → →

1. 留学先大学を選んだ理由

留学フェアでイーストアングリア大学を紹介していた先輩がとても楽しそうな留学生活を送られていたため。また、イギリスの法システムについて学び、日本での法律の勉強の参考にしたいと思ったことや、異文化交流に興味があり、イーストアングリア大学は留学生が多い大学であるため多くの文化的背景を持つ学生と交流できると感じたことなども挙げられます。

2. 留学先での学習状況

言語コミュニケーション学部 に所属し、異文化コミュニケーションについて学んでいます。言語コミュニケーション学部の科目の多くは、先生によるレクチャー（講義）と、学生主体のディスカッション（話し合い）の組み合わせで授業が進んでいきます。先生と学生の距離が近い印象を受けました。また、法律科目も受講しました。私の受講した授業では、レクチャーが週に2回、セミナーが2週間に1回ありました。法律科目の多くは「レクチャー」と「セミナー」が別々に存在し、レクチャーは日本の大学の授業形式と似ています。セミナーでは、事前に用意された問題に対しディスカッションを通して答えていきます。こちらは準備なしでは何もできないため、自習がとても大切です。イギリス出身の学生が大半を占めていたため、ディスカッションについていくのに大変苦労しましたが、友人に助けってもらったり、教科書を使って復習したりすることで乗り切っていました。

3. 留学先での生活状況

毎週出題される課題の予習や、授業の復習を行ったり、大学主催のイベントに参加したり、シティに出かけたりしています。また、ジャパンソサエティに所属しているため、そこで開催されたイベントで、空手やダンスのパフォーマンスを行いました。他にも、ヨガ部に入ったり、友人と遊びに行ったりしています。留学中は1人になる時間が増えるので、何か1つでもコミュニティに入ることをお勧めします。

4. 留学前の準備について

IELTS for UKVIの受験、指導教員の先生との面談、留学願いやVISAの申請、寮や履修希望授業の申請を行いました。また、クレジットカードを2枚発行しました。いずれも早めに行うことが肝要であると感じます。特にVISAは遅くとも留学2か月前には申請することをお勧めします。

5. 後輩へのメッセージ

少しでも留学に興味があるようでしたら、身構えることなく、ぜひ挑戦してみてください。自分の思っている以上に素敵な経験をすることができると思います。私の所属している法学科には、交換留学を経験した学生が少なく、かつ相談できる人もいなくて不安でした。ですが、留学してとても良かったです。留学を考えている方は、どのような質問でも構いませんのでお気軽にご相談ください！（学部学科問わず大歓迎です）



留学先 フランス ストラスブール大学

文学部 フランス語圏文化学科3年 折橋 藍

→ → → → → → → → → →

1. 留学先大学を選んだ理由

留学先にフランスを選んだのは、元より学習院大学でフランス語やフランス文化を学習していたので、フランスに赴いて現地の言語環境の中に身を置いてみたくなったからです。ストラスブール大学を選んだのは、ドイツとの国境近くで、なおかつ様々な国から学生が集まる国際都市ストラスブールで、社会学を学びたかったからです。

2. 留学先での学習状況

8月には短期の語学講習があり、他国からの留学生と交流を深めることができました。9月からは大学の講義が始まり、中間や期末試験に追われながら勉強を進めています。私は日本では文学部で、社会学の知識に乏しかったので、社会学に関する専門用語を一から学ぶところから始めました。その点にかなりの苦労があります。

3. 留学先での生活状況

ストラスブールは学生に優しい街で過ごしやすいです。また、フランスや隣国ドイツは食文化が豊かで、日本には無い料理を楽しむことができます。さらに、地理的にヨーロッパ諸国と近く、行く先々でEU圏の学生と同じ補助を受けられます。長期休暇には、友人や家族と、パリやロンドン、スイスに旅行しました。

4. 留学前の準備について

選考のための語学試験を早めに受けること、これに尽きます。また、現地で学ぶ専門科目に関する知見を深めておくことも大切です。日本にいたるうちに日本語で理解したことも、現地の講義内容、生活文化の理解に直結します。

5. 後輩へのメッセージ

留学と聞くと、華やかな生活を思い描くかもしれませんが、現実にはむしろ、毎日が打ちのめされるような体験の繰り返しです。留学は、母語が公用語ではないというハンデを背負う試練です。ですが、ストラスブールの人達は私が言葉に詰まっても、ゆっくり話すのを待ってくれます。日常的に異文化が混ざりあうヨーロッパ社会の寛容さを体感することもまた、留学の大きな意義の一つだと思います。



留学先 オーストリア ザルツブルク大学

文学部 ドイツ語圏文化学科3年 栗田 十和子

→ → → → → → → → → →

1. 留学先大学を選んだ理由

ドイツ語圏の文学を学んでいくうちに、キリスト教について興味を持ちました。ザルツブルク大学には神学部があり、現代社会の問題に対するカトリック教会の意見や、アルメニアのキリスト教会の歴史についてなどキリスト教に関係する興味深い授業が沢山あったので、ぜひ留学したいと思い選択しました。

2. 留学先での学習状況

授業によって、1コマあたりにかかる時間や時間帯が様々なので自分に合わせて自由にスケジュールを組むことができます。私は講義をメインに履修しているので毎週の課題は多くありませんが、授業は全てドイツ語のため予習、復習は必須でした。留学生向けのドイツ語の授業は1学期1万円ほどかかりますが、ドイツ語でのプレゼンテーションの練習や、他国から来た留学生との交流の場にもなるので履修してよかったです。

3. 留学先での生活状況

平日は授業を受け、スーパーへ買い物に行ったり予習復習をしたりして過ごします。週末は近くのショッピングモールへ行ったり、同じ寮の友達と集まってご飯を食べたりしています。ザルツブルクは不便なこともあります。自然が豊かで地元の人たちも優しく、日本よりも時間がゆっくりと流れているように感じます。時間があるときは散歩をすることが多いです。

4. 留学前の準備について

オーストリアの在留許可は入国後に申請する必要があります。日本にいたるうちに取得しなければならぬ書類も多く大変だったので、留学することが決まり次第すぐに情報を集め始めることをお勧めします。ザルツブルク大学には付属の寮がありません。日本人留学生の中には9月でも寮が見つからない人も多くいたので早めに寮探しを始めたほうが良いと思います。

5. 後輩へのメッセージ

留学前は在留許可の取得や現地での生活など不安なことが沢山ありましたが、渡航後大体のことはなんとか解決できることが分かりました。今まで本の中にしか存在していなかった世界が目の前に広がっていて、その世界で1年間も生活できるという経験ができ、とても良かったと思っています。特に文学を勉強している人には留学を強くお勧めします。



留学先 エストニア タルトゥ大学

国際社会科学部 国際社会科学科2年 久保田 健介

→ → → → → → → → →

1. 留学先大学を選んだ理由

バルト三国の一国エストニアのタルトゥ大学。例外なく私の友達はもちろん、エストニア人ですら何故エストニア・タルトゥ大学を選んだのかを最初に尋ねる。第一にヨーロッパの国に留学したかった。第二に人生でこの機会を逃したら二度と行かないような国で生活してみたかったという好奇心。アメリカやイギリスは留学先として日本人に人気で魅力的だが、すでに訪れたことがあることや、日本人が少ない環境に身を置きたかったこと、また容易に様々な国を行き来しやすいことが自分にとって非常に魅力的だった。

2. 留学先での学習状況

初めての留学ということもあり、そこまで単位に固執するというよりは、友人との時間や旅行も両立できるような時間割を1学期は作成した。現時点では1学期が終わりすべての授業の単位(9単位)を取得できた。宿題が日本と比べたらかなり多く、毎週一つ英語の論文を読み感想を書く宿題はかなり難しく時間をかけた。また、グループワークが多いのも印象的だった。

3. 留学先での生活状況

授業で毎日埋まっていた日本とは違い、圧倒的に自由時間が多い。旅行に行く時間や友人とジムに毎日通うことや、夜ご飯を作るという時間が多く、留学に行く前の自分の想像より遥かに楽しい留学生活を送れている。エストニアは日照時間が短くビタミンを薬局で買って摂取する必要があることや、11月に入ってから急激に冷え込み、街が雪で覆われているのが非常に特徴的だ。

4. 留学前の準備について

コロナの影響もあり直近で留学している先輩がいなかったため、少し準備に手間取った。ビザ申請に関しては大使館ではなく仲介会社で手続きを行う。その際にか月以内の残高証明書と海外保険の書類が必要なため、事前に調べておくことが必要。また、寮(Raatus22)の申請期間は一週間しかないため事前の準備が重要だ。

5. 後輩へのメッセージ

自分が生まれ育った国を離れ、異国の地で一人生活することは当初は想像以上にきつかったです。一度自分でやり抜く力をつけることと何でも話せる友達を作れば、あとは楽しい留学生活が待っています。特に小さい国や日本から離れている国であればあるほど障害は大きいですが、乗り越えた後の楽しさもそれだけ大きく刺激も強いので、今の大学生活に何か物足りなさを持っている、留学に興味を持っている人は思い切っ



留学先 アメリカ トロイ大学

経済学部 経済学科2年 岸上 航

→ → → → → → → → →

1. 留学先大学を選んだ理由

- ①慣れ親しんだアメリカ英語が学べるから。
- ②海外ドラマや映画を見て、おしゃれなイメージのアメリカの大学生活に憧れを持っていたから。
- ③フレンドリーでおおらかなアメリカ人の国民性が自分に合っていると感じたから。

2. 留学先での学習状況

ビジネスからパブリックスピーキング、リーダーシップまで幅広く受講しました。テストの時はクラスメイトが助けてくれたり、教授に直接頼んで電子辞書の持ち込みを可能にしてくれました。授業についていく上で大切なのは、英語ができるだけではなく、日本語を使ってでも授業の内容を理解していることだと感じました。

3. 留学先での生活状況

大学のキャンパスはアメリカの田舎らしく非常に広大で、そこに寮やカフェテリア、ジム、アメリカンフットボールのスタジアムなど、私の生活の全てが詰まっています。そして学期中はあまりキャンパスの外に出ることはありませんでした。課題は大変ですが、頻繁に開催される学内のイベントは息抜きになりました。

4. 留学前の準備について

個人的に4技能の中でリスニングを伸ばしておけばよかったと感じました。ゆっくり喋ってくれはしますが、それでも早く追いつけないときはよくあります。また、世界中から留学生が集まり色々な国の人と会えますので、その国の人に会ったら聞きたいことをまとめておくと、話題作りの時に助かります。

5. 後輩へのメッセージ

アメリカの大学は、色々な背景の人が多く幅広い専攻があるためとても面白く、きっと日本の大学とは違う良さに魅了されると思います!不安や心配事もあるけれど、それも留学のスパイスだと思って、ポジティブに頑張ってください!!



2 外国語学校等への留学

海外の大学の正規課程ではなく、語学習得のため外国語学校等へ留学することを一般的に「語学留学」と呼びます。留学先が学則第41条に定める高等教育機関にあたり、かつ各学科・専攻の定める留学基準を満たす場合、協定外留学として認められる可能性があります。協定外留学として認められない3ヶ月以上の語学留学の場合は休学の手続きが必要となります。

1 語学留学の心構え

- ・語学留学により、飛躍的に語学力が上達するとは限りません。現地での学習効果をあげるためにも、渡航前から継続的に語学の学習に努めましょう。
- ・外国語学校での授業は、形や方法は変わっても、語学の学習であることに変わりはなく、単調になりがちです。意欲的に学習を継続するためにも、ぜひ具体的な目標を設定してください。
- ・外国語学校へ留学した場合、クラスメートはその国以外の出身者であることは言うまでもありません。また、近年の留学志向を反映し、クラスの大半を日本人を含めたアジア系の留学生が占める場合も珍しいことではありません。しかし、時間とお金をかけて留学するのですから、強い意志と努力をもって語学学習に臨む姿勢を維持してください。

2 外国語学校の選択

語学留学を斡旋する業者に相談し、その業者の持つリストから学校を選ぶのが多く見られるケースですが、自分で行きたい地域の行きたい学校のホームページなどを参考に、自分で手続きを進めることも不可能ではありません。いずれにせよ、自分が主体となり、自分の目的に合った学校を選ぶ、という姿勢が重要です。

なお、斡旋業者の経営破綻に関するニュースもよく聞かれますが、そのような場合、自己責任となり、お金が返ってこないケースもあります。確かな実績のある業者かどうか、業者の選定は、慎重に行ってください。

※国際センターに置いてある資料は、あくまで参考であり、大学として推薦しているものではありません。

① コースの内容

例えば英語研修と一口に言っても、目的に応じていくつかのコースに分類されます。

| | |
|-----------|---|
| 一般英語コース | いわゆる英語によるコミュニケーション能力を身につけるための基本的なコース。私立の語学学校が主流。 |
| 進学準備コース | 大学や大学院への正規入学のために必要な英語力の習得を中心に、授業で必要とされるアカデミックスキルなども身につけることを目的としたコース。大学付属の語学学校に多い。 |
| 試験対策コース | 各種語学試験対策コース。ほとんどの場合、試験日に合わせたコース期間設定となっている。 |
| 語学プラスαコース | 語学と、スポーツ・文化体験・観光など各種アクティビティとを組み合わせたコース。 |

② 留学先国・地域

留学する国の選択は、自分の専攻や興味、また経済状況などを考慮に入れて選びます。進学準備としての語学研修を考えている人は、最終的に目標としている大学や大学院のある地域を選ぶとよいでしょう。

③ 認証制度

ほとんどの国では、留学生を受け入れるための政府や州への届出制度、または一定の基準を設けて監査を行う認証制度を設けています。これらの登録や認証を受けているかどうかは学校の選択基準となります。いくつかの学部・学科で認められている協定外留学としての語学学校への留学を希望する場合は、必ず登録や認証の有無を確認しなければなりません。

また、入国に際してビザが必要な国では、学生ビザ取得の対象となる学校かどうかは必ず確認してください。

④ 入学条件

語学研修の場合は、入学条件として、語学能力が問われることはほとんどありません。定員内であれば、簡単な書類選考により、入学することができます。ただし、学校やコースによっては、一定の語学力が必要な場合、また、年齢制限がある場合もあります。

⑤ 授業について

外国語学校の授業時間数は、1週間に15～30時間位、期間も2、3週間から3、4ヶ月位と様々なので、自分の計画にそった授業時間数を決めましょう。

また、1年間の語学留学を考えた場合、同じ学校でいくつかのコースを取る方法と、何校かの学校を組み合わせる留学する方法が考えられます。

クラスの人数も、5～20名程度で、学校によって異なります。

⑥ 費用

授業料や生活費は、コースの内容や時間数、国や地域、又は個人の生活によっても違ってきます。授業時間数が多ければ授業料は高くなりますし、都心の学校へ通えば生活費もかかります。

入学条件に、学費や現地での生活費をまかなう資金があることの証明を求める学校もあり、経済的な点から留学計画を立てることも重要です。

⑦ 注意事項

留学先が学則第41条に定める高等教育機関にあたり、かつ各学科・専攻の定める留学基準を満たし、協定外留学と認められた場合、留学先で修得した単位が本学の単位として認定される場合があります。ただし、当該の高等教育機関の学修成果が、その後進学した大学の成績証明書で証明される場合に限りです。(例：ヨーク大学付属語学学校での修得した科目が、ヨーク大学が発行する成績証明書に記載される場合、等)

3 語学留学までのタイムテーブル

外国語学校等への留学の場合、入学希望時期の約半年前には準備に取りかかりましょう。

ただし、定員が一杯になると願書の受付が締め切られることもあるので、早めの出願を心がけてください。

| | |
|-----------|------------------------------|
| 6ヶ月前 ▼ | ① 情報の収集・検討 ② 出願先の選択 |
| 3ヶ月前 ▼ | ③ 出願先の決定 ④ 出願 ⑤ 留学先の決定 |
| 2ヶ月前 ▼ | ⑥ 渡航準備 |

3 学習院大学主催プログラムへの参加

学内で各学科等が主催しているプログラムを利用することもできます。以下は過年度の一例です。参加を検討する際には、当該年度の募集情報や実施予定を、掲示や各学科等の事務室で確認してください。

1 国際センター主催海外短期研修プログラム

国際センターでは、2023年度に、全学部・学科の学生を対象とする短期研修プログラムを以下のとおり実施しました。卒業までに一度は海外で学ぶ経験を持ちたいと考えている方はぜひ参加してください。語学研修だけでなく、課題探求型のプログラムも展開しています。2024年度の募集に関する詳細は、掲示や、国際センターホームページ、「海外短期研修プログラム 2024年度版パンフレット」を参照してください。

なお、プログラムの一部は、基礎教養科目「海外フィールド研修」「海外語学研修」での単位修得が可能です。

参考

| 2023年度実施内容 | | | | | |
|-----------------|----------------------|---------------|------|------------------|------|
| 研修名 | 受入機関 | 国・地域 | 参加人数 | 研修期間 | |
| 海外フィールド研修Ⅰ | アルザス・欧州日本学研究所 | フランス・コルマル | 15 | 2023年9月5日～9月14日 | 10日間 |
| 海外フィールド研修Ⅱ | 高麗大学校 | 韓国・ソウル | 17 | 2023年8月1日～8月19日 | 3週間 |
| 海外語学研修（英語） | ヨーク大学 | イギリス・ヨーク | 30 | 2023年8月5日～8月28日 | 3週間 |
| 夏季海外語学研修（韓国語） | 東国大学校 | 韓国・ソウル | 12 | 2023年8月6日～8月19日 | 2週間 |
| 夏季海外語学研修（英語） | タルトゥ大学 | エストニア・タルトゥ | 20 | 2023年8月12日～9月3日 | 3週間 |
| 夏季海外語学研修（スペイン語） | アルカラ大学 | スペイン・アルカラ | 1 | 2023年8月20日～9月11日 | 3週間 |
| 夏季国内語学研修（英語）*1 | TOKYO GLOBAL GATEWAY | 日本・東京 | 24 | 2023年9月8日 | 1日 |
| 春季海外語学研修（英語） | カンタベリー・クライストチャーチ大学 | イギリス・カンタベリー | 23 | 2024年2月4日～2月25日 | 3週間 |
| 春季海外語学研修（英語） | ディーキン大学 | オーストラリア・メルボルン | 20 | 2024年2月6日～3月16日 | 5週間 |
| 春季海外語学研修（スペイン語） | アルカラ大学 | スペイン・アルカラ | 7 | 2024年3月2日～3月25日 | 3週間 |
| 春季海外語学研修（中国語） | 淡江大学 | 台湾・台北 | 10 | 2024年3月10日～3月23日 | 2週間 |
| 春季国内語学研修（英語）*1 | TOKYO GLOBAL GATEWAY | 日本・東京 | 8 | 2024年3月6日 | 1日 |

| 2024年度実施内容（予定）*2 | | | | | |
|------------------|------------------|--------------|------|-----------|-----|
| 研修名 | 受入機関 | 国・地域 | 募集人数 | 研修期間 | |
| 海外フィールド研修Ⅱ*3 | 高麗大学校 | 韓国・ソウル | 15 | 7月下旬～8月中旬 | 3週間 |
| 海外フィールド研修Ⅲ*3 | カリフォルニア大学サンディエゴ校 | アメリカ・カリフォルニア | 15 | 8月上旬～9月上旬 | 4週間 |
| 海外語学研修（英語）*3 | ヨーク大学 | イギリス・ヨーク | 20 | 8月上旬～8月下旬 | 3週間 |
| 海外語学研修（ドイツ語）*3 | フライブルク大学 | ドイツ・フライブルク | 15 | 8月上旬～8月下旬 | 3週間 |
| 夏季海外語学研修（英語） | タルトゥ大学 | エストニア・タルトゥ | 20 | 8月上旬～9月上旬 | 3週間 |

| | | | | | |
|-----------------|----------------------|---------------|----|-----------|-----|
| 夏季海外語学研修（韓国語） | 東国大学校 | 韓国・ソウル | 15 | 8月上旬～8月中旬 | 2週間 |
| 夏季海外語学研修（スペイン語） | アルカラ大学 | スペイン・アルカラ | 10 | 8月中旬～9月上旬 | 3週間 |
| 夏季国内語学研修（英語）*1 | TOKYO GLOBAL GATEWAY | 日本・東京 | 24 | 9月上旬 | 1日 |
| 夏季国内国際協力理解研修*1 | JICA青年海外協力隊 駒ヶ根訓練所 | 日本・長野 | 20 | 7月下旬～8月上旬 | 3日間 |
| 春季海外語学研修（英語） | ディーキン大学 | オーストラリア・メルボルン | 20 | 2月～3月 | 5週間 |
| 春季海外語学研修（中国語） | 淡江大学 | 台湾・台北 | 15 | 3月 | 2週間 |
| 春季海外語学研修（スペイン語） | アルカラ大学 | スペイン・アルカラ | 10 | 3月上旬～3月下旬 | 3週間 |

2 学部・学科学生対象のプログラム（他学部・他学科学生を受け入れる研修も一部あり）*4

| 主催 | 研修先 | 国 |
|----------|----------------------|---------|
| 英語英米文化学科 | ダブリンシティ大学 | アイルランド |
| 政治学研究所 | ホーソン英語学校（メルボルン大学提携校） | オーストラリア |

- *1 国内の研修です。
- *2 2024年度の実施内容は予定であり、変更の可能性があります。
- *3 授業科目のため履修登録が必要です。
- *4 上記の他に、パイロイト大学、ライプツィヒ大学の夏期ドイツ語講習会は「海外ドイツ語・文化研修」（2単位）として履修でき、ドイツ語圏文化学科が参加する学生のサポートをしています。

留学ミニコラム その① ～持ち物編～

留学を経験した先輩たちが「留学する時に日本から持って行った方が良い」とお薦めする持ち物を紹介します。

【日本食】

留学中はインスタント味噌汁や梅干し、調味料（定番のみりん、醤油だけでなく、七味なども）といった日本食が恋しくなりがちです。また、現地で、ホストファミリーや他の留学生へ日本食を提供する機会があったという人もいました。ただし、国・地域によっては、現地のアジアマーケットなどで安く買えたという人もいますので、事前にリサーチをしておくとうれしいです。

【医薬品】

風邪薬、解熱剤、胃腸薬、頭痛薬、鼻炎薬、虫刺され用の薬、肌荒れ用の塗り薬、目薬…など、薬を持って行けば良かった！ という意見は多かったです。海外では、病院に行くハードルも高く感じますし、薬が合わないこともあるので、日本で使っていた薬を持って行くと安心です。

【日本のお菓子】

現地の人に配ると、喜ばれることが多かったそうです。交流のきっかけにもなるので、あまりかさばりすぎない程度に持って行くと良いかもしれません。

【文房具】

日本の文房具は、質が良いことで有名です。自分で使うための文房具を持っていくだけでなく、周囲の人に配っていても喜んでもらえそうですね。

【箸】

お箸で食事することに慣れている日本人にとって、お箸がないと不便に感じてしまいます。現地では売っていないこともあるので、一膳はカバンに入れておくと役立ちます。

【日本語の本】

参考書や旅行用のガイドブックなどで、日本語で記載されている本が必要だと感じる場面もあるかもしれません。ただし、本は重いので、厳選して持って行きましょう。

こんな意見も… 【日本に関する知識】

“持ち物”ではありませんが、現在の日本の政治情勢や、日本文化を代表するアニメ、漫画のことなど、日本に関する知識をもっと知っておくべきだったという意見も多数聞かれました。日本に興味を持ってくれる留学生も多いので、自国に関する知識を身につけておきましょう。

現地に着いてから足りないものが出てきたときには、周囲の友人を頼ったり、日本から送ってもらったりしましょう。

経済学部 経営学科2年 溝口 凜々子（韓国・高麗大学校）

1. 研修に参加した理由

元々韓国語を勉強していたこと、また協定留学で3年次の1学期に半年間韓国に留学する予定があったことから、現地の語学堂で三週間授業を受けることで語学力を向上させ、日本と韓国での生活の違いを知り次の留学に活かしたいと考えたため、この研修に参加しました。

2. 研修先の様子

高麗大学校のキャンパスは校内を電動スクーターで移動するほどの広さで、その一角に語学堂の建物がありました。三週間という短いプログラムながら、パワーポイントを使いクラスメイトに韓国語でスピーチをしたり、期末試験では先生と一対一で口頭試問を行うなど、実際に学んだことを使って表現する機会が多かったです。

3. 参加した感想

韓国での生活は驚きの連続で、三人一部屋の宿舎での共同生活や、すべて韓国語で進行する授業、クラスメイトとの会話など慣れないことも多くありました。しかし、カフェや服屋さん、タクシーなど色々な場面で習った韓国語を実際に使ってみて現地の方とコミュニケーションが取れた時、語学力がアップしたという実感と大きな喜びを感じられました。

4. その他、後輩学生へのメッセージ等

韓国、高麗大学で過ごした三週間は今後の人生にとってかけがえのない貴重な経験になったと感じています。新たな出会いや日本とは違う文化への理解、そこから得られる日本に対しての気づきなど、多くの学びを得ることができました。韓国にご興味がある方には、ぜひ一度参加してみてほしいと思います。



経済学部 経営学科2年 大和 康佑（イギリス・ヨーク大学）

1. 研修に参加した理由

私はこの研修に参加し、イギリスのスポーツ業界で働くという目標への第一歩を踏み出したいと考えていました。長期留学と異なり日本での活動を継続しながら参加できる本研修は海外挑戦のきっかけとして最適であり、現地の学生と英語でディスカッションをしたり街を歩いたりする経験は、イギリスで働くことをより具体的にイメージさせてくれるものだと考え応募しました。

2. 研修先の様子

研修先のヨークはイギリスの中でも特に治安の良い街で、一人でも気軽に街を散策できるなど非常に過ごしやすい環境でした。はじめは緊張感があったものの、ホストファミリーや現地の学生は私の拙い英語力でも積極的にコミュニケーションを取ってくれて、3日も経つころには現地の生活に馴染むことができたように思います。

3. 参加した感想

研修期間は毎日のように新たな学びがあり、語学力や異文化に対する理解の向上に大いに役立ったと考えています。ヨークをはじめとして、ロンドンやリヴァプールなどイギリス文化を象徴するような都市を訪れることもでき、特に現地でサッカーの試合を生で観戦し、その熱を感じる事ができた経験は自身の将来を考える上で非常に大きな財産になりました。

4. その他、後輩学生へのメッセージ等

本研修の一番の魅力はその自由度の高さにあると思います。私自身、出発前に考えた「やりたいことリスト」が帰国時にはほとんど達成されており、非常に密度の濃い充実した時間を過ごすことができました。語学や異文化理解の第一歩としてこの研修は最適だと考えているので、少しでも興味がある人はぜひ積極的に参加してほしいと思います。



法学部 政治学科4年 皆川 あおば（韓国・東国大学校）

1. 研修に参加した理由

韓国の文化が好きで韓国語を学んでいたため、実際に韓国人との交流や、文化を体験してみたいと考えたからです。また、コロナ禍で大学生らしいことが何一つないまま卒業はもったいないと思い、2週間という短い期間だったので費用も安く、気軽に参加できる点が魅力に感じました。

2. 研修先の様子

平日は9時から12時まで韓国語や文化の授業があります。研修前に韓国語のテストがあり、それを基にクラス分けされました。中にはハンゲルが読めない参加者もいたので、韓国に興味があれば、語学力のレベル関係なく誰でも参加できます。プログラムがない午後や休日は自由行動です。私はグループでショッピングやカフェに行っていました。

3. 参加した感想

2週間でしたが想像以上に有意義な時間を過ごすことができました。東国大学校の学生との交流で語学力向上はもちろん、旅行では味わえない韓国の生活や文化を体験することができました。また、研修で知り合った韓国人の学生、日本の他大学の学生とは帰国後も連絡を取り合い、交流が続いています。充実した日々を過ごすことができ、新しい友人もでき、参加して本当に良かったと思っています。

4. その他、後輩学生へのメッセージ等

私はコロナ禍でほとんど大学に行くことができなかったため、韓国での生活が大学生の一番の思い出と言っても過言ではないくらい濃い2週間でした。留学と聞くとすぐハードルが高く感じる人もいるかもしれませんが、この研修は気軽に参加できるので、少しでも興味があれば参加することをお勧めします！



国際社会科学部 国際社会科学科2年 松下 夏美 (エストニア・タルトゥ大学)

1. 研修に参加した理由

聞き馴染みがない国であったため、興味を持ったから。大学入学前からエストニアへの研修の存在は国際センターのホームページから知っており、入学後はぜひ参加したいと思っていた。こういった研修の機会がなければ知ることも興味を持つこともないような遠い国であったため、良い機会だと思い参加を決めた。

2. 研修先の様子

滞在はホームステイであった。研修の前半と後半に分かれてタリンとタルトゥの二つの都市に滞在したが、特にタリンは人が穏やかで優しく、日本語で話しかけてくれる現地の方もいた。困った時は現地の大学関係者の方が常に行動を共にしていたため、すぐに相談することができとても安心だった。

3. 参加した感想

日本から遠く離れたエストニアへの渡航はハードルが高く感じていたが、実際に訪れ、現地の家族の一員になることは一生の思い出になった。帰国後もホストファミリーとメールのやり取りを続けており、英語学習のみならず、国を超えて人と人との繋がりを持つことができ、とても嬉しく貴重な経験であった。

4. その他、後輩学生へのメッセージ等

エストニアは穏やかで安全な国で、日本と似ているように感じた。北欧に興味がある人は勿論、初めて海外に行く人にもおすすめしたい。また、隣国フィンランドやラトビアへのツアーもあるため、興味がある方には是非参加して頂きたい。



法学部 法学科1年 松浦 宏志 (オーストラリア・ディーキン大学)

1. 研修に参加した理由

今日の日本では英語力がキャリアの幅を広げる、ということを大学に入学する前からよく耳にしていました。そのため、いつかは留学に行こうかと漠然と考えていました。しかし、私はこれまで一度も海外に行った経験がなく、いきなりの長期留学には不安がありました。そこで今回の研修で、海外の文化と語学留学がどのようなものかを体験したいと思い参加を決めました。また、比較的治安の良いオーストラリアだったことも決め手の一つです。

2. 研修先の様子

Deakin大学はメルボルンの中心部からトラムで一時間程の場所にあり、自然と都会の調和を感じられます。メルボルンは比較的移民が多く、アジア系の人も多数見かけます。大学付属の語学学校では、様々な国からきた学生と共に英語を学ぶことができます。また、大学自体はネイティブの学生がほとんどを占めるので、友人を作ることで経験できることの幅がぐっと広がります。

3. 参加した感想

語学学校は日本人の割合がとても高いので、放課後や休日に積極的に様々なことに参加することが重要だと感じました。また、授業も大切ですが、ホストファミリーや友人となるべく会話をすることが自信をつけることにつながると感じます。

4. その他、後輩学生へのメッセージ等

海外では日本との違いに戸惑い、あまり積極的になれないこともあるかと思いますが、しかし、日本に帰ってからでは体験できないことをすべてやりきるつもりで頑張ってください。また、留学に参加するか迷っている人も、一度チャレンジしてみることをお勧めします。海外の良いところはもちろん、日本の良いところも再認識できると思います。様々な経験を得られることを願っています。



文学部 英語英米文化学科1年 村田 風花 (日本・TOKYO GLOBAL GATEWAY)

1. 研修に参加した理由

大学入学以前から長期留学をしたいと考えており、その事前準備としてまずは短期留学に参加しようと思っていたところこのプログラムの案内を見つけました。国内でありながらAll Englishでの研修ということに魅力を感じ、留学のイメージを掴みつつ、自身の力を把握するために参加を決めました。

2. 研修先の様子

マーケティングやニュースレポートなど様々なアクティビティがあり、初めてのことも多かったのですが、エージェントの方が丁寧に説明してくださったので楽しく参加することができました。研修中は本当に全て英語で、日本人の仲間とも英語で話すことがとても新鮮でしたが、お互いジェスチャーも交えながらグループワークに取り組みました。

3. 参加した感想

英語で自身の考えを主張したり、リアクションを伝えることがスムーズにいかずもどかしさを感じましたが、自分の課題を認識できる良い機会でした。英語での会話の難しさを感じると同時に、上手く話せずとも楽しさを共有できることを実感できたことで、英語を話すことへの抵抗感が薄まり、より一層英語学習への意欲が高まりました。

4. その他、後輩学生へのメッセージ等

何かに挑戦することはとても勇気があることですが、大学生のうちにはしか経験できないことがたくさんあります。挑戦したい気持ちを大切に、思い切って応募してみると新たな発見や自分を見つめ直す機会に出会うことができるので、英語の実力に関わらず、英語に興味のある方は是非この研修に参加してみてください！



Ⅲ 留学の準備

1 学内の手続き

※年度内中に変更が生じる可能性もあるため、「留学」や「休学」を申請する際には、必ず学生センター教務課窓口にご相談ください。

1 学部学生の留学に関する内規

留学を希望する際には、必ず以下の内規を熟読の上、必要な手続きを進めてください。

(抜粋)

第1条 学習院大学（以下「本学」という。）の学部学生が、学則第41条により留学する場合には、この内規に定めるところによる。

第2条 この内規にいう留学とは、教授会において、その願出が承認され、学長の許可を受けた場合をいう。

第3条 学籍上の留学の期間（以下「留学期間」という。）は、留学先大学における在学期間に応じて、次のとおり取り扱う。ただし、留学を希望する者が所属する学科において個別の判断を行った場合は、この限りでない。

- 一 留学先大学における在学期間が3か月以上6か月以内の場合は、留学期間を半年間とする。
- 二 留学先大学における在学期間が6か月を超えて、9か月未満の場合は、所属学科において留学期間を判断する。
- 三 留学先大学における在学期間が9か月以上1年以内の場合は、留学期間を1年間とする。

2 留学期間は、原則として1年間を限度とする。ただし、特別の事情があるときには、更に1年以内の延長を認める事がある。

3 留学期間は、在学年数に算入する。

第4条 留学の許可を受けた者が、外国の大学において修得した単位のうち、教授会が適当と認めた単位を学則第15条第1項第2号に定める単位数を限度として、本学において修得したものとして認定することができる。

2 修得単位の認定に関する基準は、別にこれを定める。

第5条 留学を希望する者は、留学先の適否及び履修科目等の適否について、所属学科の教員から指導を受けなければならない。

第6条 留学を希望する者は、別に定める必要書類を添えて留学願を提出し、許可を得なければならない。

2 渡航前に留学手続が完了しない場合には、一旦休学願を提出して渡航することができるが、必要書類が揃った時点で留学願を提出し、許可を得なければならない。

この場合、遡って休学の期間あるいは、その一部を取消することができる。

第7条 留学の許可を受けた者については、留学期間中の本学における授業料（在籍料を除く。）、施設設備費及び研究実験費を減免する。

2 外国の大学との交流協定に基づく留学者で、その協定によって留学先大学の納付金が免除されるときは、前項にかかわらず本学の納付金を納付しなければならない。

第8条 留学した年度の第1学期及び留学を終えて帰国した年度の第2学期において修得した授業科目の単位は、それぞれの年度に修得したものとす。

第9条 留学した年度の第1学期に履修していた通年の授業科目については、留学前に継続履修願を提出し、留学を終えて帰国した年度の第2学期にその授業科目を継続して履修することが認められた場合、通年で履修したものとみなす。

第10条 第4条規定に基づき単位の認定を願い出る者は、留学した大学の成績証明書及び履修要覧を添えて、留学に伴う単位認定願を提出するものとする。

第11条 留学先大学で修得した単位の認定は、教授会が行う。

第12条 留学を終えて帰国した年度の第2学期に履修する授業科目の履修登録は、9月末までに終えるものとする。

第13条 留学及び単位認定に関する事務は、学生センター教務課が行う。

第14条 この内規の改正は、教務委員会の議を経て、各学部教授会の承認を得なければならない。

2 各学部・研究科の「留学」認定基準

皆さんの選んだ形式の留学が、本学における学籍上の「留学」として認定されるかについては、学部・研究科ごとに認定基準を設けています。認定されなかった場合は、「休学」して渡航しなくてはなりません。

| | |
|--------------------------|---|
| 法学部法学科 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 海外の大学（4年制の大学を指し、コミュニティ・カレッジなど、短期で卒業可能な教育機関は含まない。以下同じ。）における学部に入学を許可された者。 2. 海外の大学における学部に入学することが予定され、その準備のために、大学が指定し、または公的に認証された外国語学校に入学する者。 |
| 法学研究科 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 海外の大学・大学院における法学または政治学に関連する学部・専攻に入学を許可された者。 2. 海外の大学・大学院における法学または政治学に関連する学部・専攻に入学することが予定され、その準備のために大学・大学院が指定し、または公的に認証された外国語学校に入学する者。 |
| 法学部政治学科 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 海外の大学（コミュニティ・カレッジ（短期大学）も含める。以下同じ。）の学部に入学を許可された者。 2. 原則として総計3ヶ月以上に及ぶ形で、海外の大学が開設する学部該当しないプログラムに入学を許可された者。ただし、プログラムの内容によっては認められない場合もあるので、必ず事前に政治学科の教務委員に確認すること。 3. 海外の大学の学部に入学することが予定され、かつ、入学の条件を満たすために、当該大学が指定する外国語プログラム（大学附設の外国語学校または外国語センターが提供するプログラム、あるいは大学が指定する外部の提携外国語学校が提供するプログラムを指す。以下同じ。）、あるいは公的に認証された外国語学校に入学する者。 4. 海外の大学の学部に入学を許可された者で、当該大学に入学する前に、同大学を含む海外の大学が指定する外国語プログラム、あるいは公的に認証された外国語学校に任意で入学する者。 5. 原則として総計3ヶ月以上に及ぶ形で、海外の大学が指定する中長期の外国語プログラム、あるいは公的に認証された外国語学校が提供するプログラムに入学する者。ただし、プログラムの内容によっては認められない場合もあるので、必ず事前に政治学科の教務委員に確認すること。 |
| 政治学研究科 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 海外の大学（コミュニティ・カレッジ（短期大学）は含まない。以下同じ。）・大学院（ディプロマ・コースは含める。以下同じ。）における政治学に関連する学部・専攻に入学を許可された者。 2. 海外の大学・大学院における政治学に関連する学部・専攻に入学することが予定され、かつ、入学の条件を満たすために、当該大学・大学院が指定する外国語プログラム（大学・大学院附設の外国語学校または外国語センターが提供するプログラム、あるいは大学が指定する外部の提携外国語学校が提供するプログラムを指す。以下同じ。）、あるいは公的に認証された外国語学校に入学する者。 3. 海外の大学・大学院における政治学に関連する学部・専攻に入学を許可された者で、当該大学・大学院に入学する前に、同大学・大学院を含む海外の大学・大学院が指定する外国語プログラム、あるいは公的に認証された外国語学校に任意で入学する者。 |
| 経済学部 経済学研究科 経営学研究科 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 海外の大学・大学院における経済・経営関連の学部・専攻に入学を許可された者。 2. 海外の大学・大学院における経済・経営関連の学部・専攻に入学が予定され、その準備として大学・大学院が指定する外国語学校に入学する者。 3. 海外の大学・大学院が提供する中長期の外国語プログラムに参加する者。（経営学科学生に限る。内容によっては認めないこともある。） |
| 文学部 人文科学研究科 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 海外の大学・大学院における文学部関連の学科・専攻への入学が認められた者。学部や専攻の名称、機構や制度は国によって多様であり、また、文学部の関連学問領域も広いことにかんがみ、直接文学部とその大学院にあたらぬ学部・専攻への入学許可の場合には、受け付けた上で個別判断する。 2. 海外の大学・大学院における入学が予定され、その準備として大学・大学院が指定する外国語学校、あるいは外国語クラスに入学する者。 3. 海外の大学が提供する中長期の語学プログラム、あるいは大学に付属する外国語学校に外国語の習得を目的に正規に参加または入学を認められた者。 4. 公的に認証された外国語学校であり、文学部教授会または人文科学研究科委員会において審議の上、大学で学ぶのと同等の教育を受けることが出来ると判断された学校に、正規に入学を認められた者（ベルリッツ等、私企業が経営する、日本にもあるような通学可能な外国語学校への入学は、留学とは認めない）。 |

| | |
|------------------------|---|
| <p>理学部 自然科学研究科</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 原則として、大学ないしは大学院で理学系・工学系の専門的な学問を学ぶ場合のみを留学と認める。そのような学習に先立って留学先が指定する機関で語学の研修をおこなう場合は、それも留学に含める。語学研修が主要目的の場合は留学と認めない。 2. 「専門的な学問を学ぶ」ことになるかどうかは、原則として、先方で取得しうる単位を理学部または自然科学研究科での単位として読み替えられるかどうかで判断する。(ただし、これは、留学をしたら単位取得が必須であるという意味ではなく、取得単位が自動的に読み替えられることを意味するものでもない。単位の読み替えの可否は、留学から戻ったあとに個別に判断する。) 3. 学生から留学の申請があったときは、各学科主任または各専攻主任が、必要に応じて教室会議の意見を聞き、理学部教授会または自然科学研究科委員会において審議の上、留学と認定するかどうかを個別に判断し決定する。 |
| <p>国際社会科学部</p> | <p>令和5年度（2023年度）入学者以前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国の大学又はこれに相当する高等教育機関（以下、外国の大学等）における社会科学関連の学部・専攻に入学を許可された者。または入学する外国の大学等が提供する外国語プログラム及び附属する外国語学校のいずれかでの学習と並行して、社会科学関連の学部・専攻で開講される授業を履修することが認められた者（コンカレント・プログラム等）。 2. 外国の大学等における社会科学関連の学部・専攻への入学を許可された者で、この入学準備を目的として、入学する外国の大学等が提供する外国語プログラムに参加、または入学する外国の大学等の附属・提携する外国語学校に入学を許可された者。 3. 外国の大学等における社会科学関連の学部・専攻への条件付入学を許可された者で、この条件を満たすことを目的として、入学する外国の大学等が提供する外国語プログラムに参加、または入学する外国の大学等の附属・提携する外国語学校に入学を許可された者。 4. 外国語の修得を目的として、外国の大学等が提供する外国語プログラムに参加、または外国の大学等の附属する外国語学校に入学を許可された者。 <p>令和6年度（2024年度）入学者以降～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国の大学又はこれに相当する高等教育機関（以下、「外国の大学等」という）における社会科学関連の学部・専攻への入学を許可された者。あるいは、入学する外国の大学等が提供する語学プログラム又は入学する外国の大学等に附属する外国語学校での語学学習と並行して、社会科学関連の学部・専攻科目の単位習得が可能な授業履修（以下「専門科目の授業履修」という）をするプログラムへの入学を許可された者。いずれも、専門科目の授業履修をすぐに行うことができる場合とするが、その準備のために数週間程度のオプション的な語学クラス等を履修することは妨げない。 2. 外国の大学等が提供する語学プログラム又は外国の大学等に附属する外国語学校での語学プログラム（語学学習の修了後に専門科目の授業履修をすることがプログラムの内容に含まれるものに限る）への入学を許可された者。プログラム中の語学学習部分については、プログラムが定める一定期間（例えば、1セメスター、1ターム等）の学修を要する正規プログラムとする。語学学習修了後の専門科目の授業履修部分について、語学試験スコア等の条件（以下「専門科目の履修条件」という）付きで履修が認められる場合、及び専門科目の授業履修と並行して語学学習を継続する場合等も含める。また、プログラム期間中に専門科目の履修条件を満たすことができず、結果として専門科目の授業履修ができなかったとしても、留学の基準は満たされるものとする。 3. 外国語の修得を目的として、外国の大学等が提供する語学プログラム又は外国の大学等に附属する外国語学校における語学プログラムへの入学を許可された者。 |

3 「留学」の場合の手続き

| 時期 | 期限 | | 手 続 |
|-----|---------------------------|--------------------|---|
| | 10月渡航 | 4月渡航 | |
| 留学前 | 6月中旬 (目安) | 1月中旬 (目安) | 留学先の大学から文書(公文書)で入学許可書入手する。 (留学手続き開始にあたり必須のため、早めに交付を受けること) |
| | 6月末日 | 1月末日 | <ol style="list-style-type: none"> 提出が必要な書式を学生センター教務課窓口にて入手する。 以下のとおり危機管理に関する手続きを行う。 <ul style="list-style-type: none"> 協定留学者の場合：国際センターの指示に従うこと 協定外留学者(国社)の場合：学部からの指示に従うこと。 協定外留学者(国社以外)の場合：「海外渡航に関する危機管理について」を参照すること※3 以下の必要書類一式を指導教員へ持参し、留学願に押印を受ける(下記「留学願の指導教員一覧」を参照すること)。 <ul style="list-style-type: none"> 留学願 入学許可書(原本、コピー)※1 案内・パンフレット等(協定外留学の場合のみ。詳細は「留学願の記入・提出上の諸注意」を参照すること) 学生センター教務課へ必要書類一式を提出する。 |
| | 6月末日 | — | <ol style="list-style-type: none"> 継続履修願の書式を学生センター教務課窓口にて入手する(6月中旬)。※2 必要事項を記入し、指導教員から押印を受ける。※3 授業担当教員から継続履修の了承を得る。 学生センター教務課へ継続履修願を提出する(留学願と同時に提出)。 |
| 留学中 | — | — | <ol style="list-style-type: none"> 帰国日が決まったら以下の部署に帰国日と帰国便情報を連絡する。 <ul style="list-style-type: none"> 協定留学者 → 国際センター 協定外留学者(国社) → 国際社会科学部事務室(学部申請した帰国日に変更があった場合) <ul style="list-style-type: none"> ※協定外留学者(国社以外)は連絡不要 単位認定の申請を希望する場合は、以下の書類を帰国前に入手しておく。 <ul style="list-style-type: none"> 留学先の成績証明書(学校印が押印されているもの、原本を入手する。学生センター教務課への提出後、書類は返却されないため必要に応じて2通以上取得しておくことを推奨)、シラバス、時間割、学年暦 |
| 帰国後 | — | — | 第1学期からの復帰：4月の履修登録期間に登録 第2学期からの復帰：9月の履修登録期間に登録 |
| | 新学期開始日より 3ヶ月以内 | 単位認定願提出 (希望者のみ) | <ol style="list-style-type: none"> 単位認定願をG-Portのキャビネットからダウンロード。 書類に必要事項を記入し、留学先の【成績証明書(原本)・シラバス・時間割・学年暦】、単位認定先として願い出る本学科目のシラバスを添え、指導教員へ持参。押印を受ける。 学生センター教務課へ書類一式を提出する。 |
| | — | — | <ol style="list-style-type: none"> 会議で単位認定願が審議される。 学生センター教務課にて審議結果を確認する。 |
| — | 学生センター 教務課より 帰国後に指示 | 継続履修手続 (希望者のみ) | <ol style="list-style-type: none"> 学生センター教務課からのお知らせ(G-Port：6月中旬配信)を確認のうえ、授業担当教員から継続履修の了承を得る。※2 第2学期履修登録期間に該当科目を履修登録する。 |

- ※1 入学許可書に在籍期間が記載されていない場合には、大学暦等、在籍期間が分かる書類を提出すること。
- ※2 留学期間が10月1日から翌年9月30日の場合、開始年度の第1学期の履修を次年度の第2学期に繋げる「継続履修」の制度を申請することができる。希望する場合は、学生センター教務課窓口へ申し出ること。ただし、授業担当教員の判断で許可されない場合がある。
- ※3 留学願の指導教員一覧
 留学先大学、学校に関する情報を揃え、留学願の右上の指導教員欄(非常勤講師・特別客員教授を除く)に了承印を得てください。その後、了承印が押印された留学願を学生センター教務課に提出してください。
 なお、下表の指導教員欄の番号は優先順位となっています。演習等の担当教員が専任教員でない場合は、優先順位の次の教員の了承印を得てください。

指導教員について

【学部生】

| 学部 | 学科 | 指導教員 |
|---------|---------|--|
| 法学部 | 法 学 科 | <ol style="list-style-type: none"> 2年生…1. 特設演習を履修している場合は、その担当教員 2. 特設演習を履修していない場合は、ホームルーム担当教員 3、4年生…1. ゼミ担当教員 2. ゼミを履修していない場合は、学科教務委員 |
| | 政治学科 | <ol style="list-style-type: none"> 1年生…1. 基礎演習を履修している場合は、その担当教員 2. 基礎演習を履修していない場合は、ホームルーム担当教員 2年生…1. ホームルーム担当教員 3、4年生…1. 「演習(政)」を履修している場合は、その担当教員(複数履修している場合は適宜選択) 2. 上記に該当しない場合、担当教員が長期研修等で願出学期中不在の場合、専任教員でない場合は、学科教務委員 ※政治学科学学生は、上記いずれの学年であっても留学願提出前には、教務委員にも事前相談を行うこと。 |
| 経済学部 | 全 学 科 | 学科教務委員 |
| 文学部 | 全 学 科 | <ol style="list-style-type: none"> ゼミ担当教員又はホームルーム担当教員 上記の担当教員が願出学期中不在の場合は、学科教務委員 |
| 理学部 | 全 学 科 | 学科教務委員 |
| 国際社会科学部 | 国際社会科学科 | 指導教員欄への押印は学部事務室が行う。必要事項を記入した留学願と所定の添付書類を学部事務室に持参すること(事務室の開室時間中であれば事前予約は不要)。 |

【大学院生】…指導教授 【法科大学院】…指導教授

4 「休学」の場合の手続き

「留学」として認められない3ヶ月以上の海外渡航の場合は、所定の「休学願」を学生センター教務課に提出し、休学の許可を受ける必要があります。休学期間は在学年数に算入されず留年となるため、「休学」により渡航する場合は、4年間で卒業することはできません。

5 学内手続き（「留学」・「休学」）に関するQ & A

| Questions | Answers | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|--|---------|-----------|---|------|------|------|---------|--|---------|
| 留学できる期間はどのくらいですか？ また延長することができますか？ | 「留学」として許可される期間は、原則として1年間（4月1日～3月31日又は10月1日～9月30日）が限度です。ただし、さらに1年に限り延長が可能です。その場合は、改めて留学願を提出してください。 | | | | | | | | | |
| 「留学願」の提出期限はいつですか？ | 10月からの留学の場合は6月末日、4月からの留学の場合は1月末日までに留学願を提出して下さい。留学先からの入学許可書の発行が間に合わない場合、学生センター教務課へご相談ください。 | | | | | | | | | |
| 継続履修とは何ですか？ | <p>留学または休学期間が10月1日から翌年9月30日の場合に適用される制度です。履修中の通年科目について、留学開始年度の第1学期の授業を次年度の第2学期の授業に継続させ、1年間履修したものとみなしてもらうことが可能です。</p> <p>ただし、休講や時間割の変更、また担当者の交代などにより、願い出た科目全てが継続履修できるとは限らないことに留意してください。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">← 留学/休学 →</td> <td style="text-align: center;">B</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">第1学期</td> <td style="text-align: center;">第2学期</td> <td style="text-align: center;">第1学期</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">← 今年度 →</td> <td></td> <td style="text-align: center;">← 次年度 →</td> </tr> </table> <p>* 「A」と「B」を合わせて、通年の履修とする。</p> | A | ← 留学/休学 → | B | 第1学期 | 第2学期 | 第1学期 | ← 今年度 → | | ← 次年度 → |
| A | ← 留学/休学 → | B | | | | | | | | |
| 第1学期 | 第2学期 | 第1学期 | | | | | | | | |
| ← 今年度 → | | ← 次年度 → | | | | | | | | |
| 留学後、単位認定をしてもらうことはできますか？ | <p>単位認定は、教授会で「留学」と認められた場合、つまり「協定留学」・「協定外留学」どちらの場合でも願い出ることができ、学部生は60単位、大学院学生は10単位を限度に認定される可能性があります。</p> <p>単位認定を願い出る科目については、原則として、留学先での修得科目と本学の該当授業科目との内容・学修時間が同等であることが条件となります。具体的な認定基準は学部生の場合は、履修要覧の『学則第41条が規定する留学に伴う単位の認定について』を確認の上、不明な点があれば、学生センター教務課へご相談ください。大学院生の場合は、大学院学則第32条を確認の上、不明な点があれば、学生センター教務課へご相談ください。</p> <p>申請後、所属学科・専攻の教授会・研究科委員会で、留学中の成績などを勘案して審議が行われるため、単位認定されるかどうかについては、留学後でなければわかりません。その点も含めて、余裕をもった履修計画を立てるようにしてください。</p> | | | | | | | | | |
| 留学をしても4年間で卒業できますか？ | <p>「留学」として許可される期間は在学年数に算入されますので、規程上は留学しても4年間で卒業することが可能ですが、実際には所属する学部・学科や、留学前の修得単位数、留学時期、また就職活動などの関係で、4年間で卒業できる場合もあれば、やむなく5年間かかってしまう場合もあります。4年間で卒業できるかどうかについては、できるだけ早い段階で、関連部署に相談してください。</p> <p>休学の場合は休学期間が在学年数に算入されず、4年間で卒業することはできません。</p> | | | | | | | | | |
| 休学期間は何年ですか？ また延長することができますか？ | 休学期間は3ヵ月以上1年以内で、引き続き1年間の休学が可能です。ただし、学部の場合は、通算して4年を超えることはできません。 | | | | | | | | | |

| Questions | Answers |
|---------------------|--|
| 休学の場合も継続履修が認められますか？ | 留学の場合と同様に認められます。その場合は、休学願と同時に継続履修願を学生センター教務課に提出してください。 |

6 留学とキャリアに関するQ & A

| Questions | Answers |
|--|---|
| 留学すると就職活動は不利になりますか？ | 留学では、通常の学生生活では得られない貴重な体験ができます。その貴重な経験をきちんとまとめてPRできれば、留学が就職活動に不利になることはありません。ただし、留学時期によっては就職活動時期にかかったり、単位取得を優先しなければならないケースもあると思います。留学前と帰国後にはキャリアセンター（西5号館4階）に相談し、どのような就職活動をしていけば良いか、計画を立てておくことが大切です。 |
| 留学時期と就職活動時期が重なってしまう場合、就職活動はどのように進めれば良いですか？ | <p>キャリアセンターの運営している「学習院キャリアNavi（キャリナビ）」からは、就活情報のお知らせやキャリアセンター主催のセミナー、企業説明会の案内を受け取ることができます。オンデマンド配信やライブ配信のセミナーなど留学先でも参加できるものがあります。留学前にぜひログインして、メールアドレス等の登録を行いましょう。</p> <p>◆ログイン方法 https://uc-student.jp/u-gakushuin/ ID：20+学籍番号 初回パスワード：20+学籍番号 (例 学籍番号21123456の場合→2021123456)</p> <p>また、留学中でも就職ナビサイト（例：マイナビ、リクナビ、キャリアタス就活など）や気になる企業のホームページを見るなど、志望業界について調べることができます。さらに、世界各地で開催されるキャリアイベント（例：ポストンキャリアフォーラムなど）に参加することもできます。帰国後でも、日本で留学経験者向けの就職イベントが年に数回開催されますので、ぜひ積極的に参加してください。</p> <p>そのほか留学中に現地の卒業生団体（桜友会）など、社会人と接点を持って自分のキャリアを考えるきっかけにするのも良いでしょう。</p> <p>(参考サイト) CFN https://careerforum.net/ja/ マイナビ国際派就職 https://global.mynavi.jp/</p> |
| 留学希望者・留学中の学生向けの就職サポートはありますか？ | 令和5年度は留学希望者向けの就活セミナー（就活スケジュールや留学中の就活への向き合い方を説明）や、国際センターの留学フェアの期間中に留学経験のある先輩の就活の話を聞く会を開催しています。また、上記の「キャリナビ」ではオンラインでキャリアカウンセラーと個別面談の予約をすることができます。留学中の学生が留学先からオンラインで相談することができますので、進路や就職のお悩みをぜひ相談してみてください。 |
| 留学経験者の就職先には、どのようなところがありますか？ | 本当に様々ですが、留学で得た語学や異文化交流を活かしたいと考える場合、海外との取引のある商社、メーカー、コンサルティング、金融、サービス、旅行などの業界を選ぶ先輩が多いようです。税関などの公務員を選択する方もいらっしゃいます。 |

7 長期留学経験者の就職活動体験記

*学生の所属、在籍年次は執筆当時のものです。

内定先 デロイトトーマツコンサルティング合同会社

留学先 イタリア・トリノ大学へ協定留学

経済学部 経営学科4年 吉岡 佐和子

→ → → → → → → → →

私は3年生の秋から4年生の夏まで2学期間留学しました。海外生活には慣れていたので、言語や友達作りには苦労しませんでした。しかし、留学中はどんなにその国に馴染めても自分はいくまで「外国人」という扱いを受けるのでよくホームシックになりました。そして何もかもが便利でスムーズな東京での生活とは違い、ほとんどが計画通りに進まないヨーロッパでの生活にはイライラしたり不安になったりしましたが、苦労した分たくさんの学びがあったと感じています。就職活動に関しては、留学前は一つ準備していませんでした。2月下旬から就職活動を始めて、留学先には就活仲間もいなかったのが初めはつらかったですが、4月のロンドンキャリアフォーラムで内定を頂き、留学中に就活を終えることができました。私は週末や長期休暇はよく旅行をしていました。たくさん旅行をしたおかげで、どこへでもすぐに行ってみようという行動力と計画力が身に付き、行動範囲も広くなりました。そして、直接自分で足を運んで現地で物事を学ぶ大切さを実感しました。

就職活動を理由に留学を諦めるのは本当にもったいないです！就職は今後いつでもできますが、留学は学生のうちにしかできません。ぜひ留学に挑戦して、海外生活を楽しんでください。



内定先 学校法人慶應義塾

留学先 イギリス・

イーストアングリア大学へ協定留学

文学部 英語英米文化学科4年 竹市 真奈

→ → → → → → → → →

就職活動について、留学前は主に自己分析や業界研究を行っていました。大手就活エージェントのサイトをいくつか利用したり、留学生向けのエージェントにも登録をして求人を見るようにしていました。留学中にしっかり自分と向き合う時間が取れたこともあり、一旦は日本で就職することにしました。そのため日本の学生と同じく、3月頃から書類提出、本選考に進んでいきました。帰国まではオンラインで選考を受けられる求人を受験していました。選考を受けながら、徐々に業界が絞られて行った印象です。そして帰国後は、最終面接が2社あり、ご縁がありそのうちの1つに内々定を頂きました。

留学中に感じた壁は、言語と文化の違いです。ありきたりかもしれませんが、最後までこの壁の存在を意識していました。完全に乗り越えたというよりは、壁として対抗するのではなく、糧として意識するようになりました。わからなかったことは自分で調べる、友達に聞く、地道な作業ですが、これらを忘れる前にすぐ行うことを大切にしていました。

不調を感じたらしっかり休む、1人になれる時間を取ることで、私はバランスを取っていたように感じます。留学を有意義なものにするためにも、健康を大事にしてほしいです。



Ⅳ 奨学金

1 学内の奨学金

本学では、留学費用の軽減を図り、できるだけ多くの皆さんが留学等のチャンスを得ることができるよう、以下のようない奨学金制度を設けています。詳細は、掲示や国際センターホームページ、G-Portなどで公示しますので、それぞれの募集要項で確認してください。また、独自の奨学金を設けている学部等もありますので、詳細については、所属の学部学科、研究科の事務室にお問合せください。

1 学習院大学海外留学奨学金

| | |
|-------|---|
| 応募条件 | 「留学願」が承認されている者又は承認されることが見込まれる者 出願時点のGPAが通算2.450以上の者 ※「休学」による渡航の場合は応募できない。 |
| 奨学金額 | 1名につき年間40万円以内（給付） |
| 採用予定数 | 年間延べ80名程度 |
| 募集時期 | 年2回（6月および12月） |

2 学習院大学海外短期研修奨学金

| | |
|-------|--|
| 応募条件 | 夏季または春季休業中に3週間以上の海外語学研修・短期研修に参加する者 ※過去に「海外短期語学研修奨学金」「春季語学研修奨学金」を受給した方も応募可能。 |
| 奨学金額 | 1名につき7万円以内（給付） |
| 採用予定数 | 年間170名程度（夏季、春季計） |
| 募集時期 | 年1回 |

3 学習院大学北米への留学促進奨励金

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 応募条件 | 本奨励金が指定する国際センター主催の短期研修（夏季・春季）に参加する者 |
| 奨学金額 | 1名につき15万円以内（給付） |
| 採用予定数 | 年間20名程度 |
| 募集時期 | 年2回（夏季：9月、春季：2月） |

4 学習院大学語学能力試験受験の助成

| | |
|-------|------------------------------|
| 応募条件 | 留学に必要な所定の語学能力試験を受験した者 |
| 奨学金額 | 1名につき1.2万円以内（給付）（語学試験により異なる） |
| 採用予定数 | 年間80名程度 |
| 募集時期 | 年1回（4月～翌1月） |

5 大学院学生の国外における研究発表援助

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 応募条件 | 大学院の正規の課程に在籍する者で、国外で開催される研究集会で発表を行う者 |
| 奨学金額 | 1名につき10万円以内（給付） |
| 採用予定数 | 年間20名程度 |
| 募集時期 | 年1回（4月～翌1月） |

2

学外の奨学金

学外の奨学金は、公的機関や民間団体が独自に設けており、申込みは基本的に学校を通さず個人で行います。留学先の入学許可を得ていることが応募条件になるものや、奨学生に採用されると自動的に留学先が決定するものがあります。

また、国際センターのホームページや掲示板では、学外奨学金の募集情報が入り次第、随時掲載・掲示していますので、ぜひ定期的に確認してください。

◎公費奨学金

日本政府、地方自治体および外国政府からの奨学金です。

日本学生支援機構（JASSO） <https://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

◎官民協働奨学金

官民協働海外留学支援制度～トビタテ！ 留学JAPAN 新・日本代表プログラム～

<https://tobitate-mext.jasso.go.jp>

採用者の声：国際社会科学部 国際社会科学科4年 遠山 瑞希
(2022年1月～8月、デンマークとドイツへ留学)



トビタテ留学JAPAN多様な人材性コース第14期生として、ジェンダー先進国かつおもちゃ産業の先進国であるデンマークとドイツへおもちゃ留学をしました。デンマークではデザインの学校で視覚デザインを専攻し、実際に玩具の製作を行いました。ドイツでは実践活動としてシュタイナー人形を作る会社でインターンをしました。コロナ禍での留学ということもあり、全てが計画通りにいったわけではありませんでしたが、軸を持ちながらも状況に応じて柔軟に対応する力を培いました。国際交流という点では、書道を教えたり、友人に着物の着付けをしてあげたり、日本食を振る舞ったりしました。

自分の好きなことをまっすぐ追求することができたのは、トビタテ留学JAPANの研修やコミュニティを通じて出会った視座を高く持ち、何かに熱意を持った他大学の学生の影響も大きいと思います。留学中に出会った様々な国籍の友人やトビタテコミュニティで出会った仲間は今でもかけがえのない存在です。

*学生の所属、在籍年次は執筆当時のものです。

◎民間団体奨学金

各種財団や団体による奨学金です。すべての情報が国際センターに届くわけではありませんが、届いたものについては、当センターホームページや掲示で確認できます。

◎留学先大学や国による奨学金

留学先の大学や国で、外国人留学生のための奨学金が設けられている場合があります。学部学生での採用はかなり難しいと思われますが、大学院レベルの学生には、比較的応募しやすい場合もあります。各自で留学先大学や各国の大使館に問い合わせてください。

その他、日本学生支援機構（JASSO）により、以下のような貸与型の奨学金が用意されています。窓口は学生センター学生課です。留学時期に合わせて申込み締切が設けられていますので、希望する場合、早めに学生センター学生課に相談してください。

第二種奨学金（海外）（有利子貸与型）

- ・海外の大学等の正規課程へ進学する者
- ・日本の学校を卒業見込みの在学者および申込時において卒業後3年以内の者

第二種奨学金（短期留学）（有利子貸与型）

- ・海外の短期大学、大学、大学院への短期留学（3ヶ月以上1年以内）する者
- ※ただし、交流協定等に基づく留学、留学先の取得単位が帰国後認定される留学および大学院生の外国の大学院等で研究目的とする留学に限る。

留学ミニコラム その② ～お金編～

※国や地域・個人により異なるので参考情報にしてください。

留学を検討する時に必ず考えなくてはいけないのが費用のことです。ここでは、3か月以上1年以内の中長期の留学の場合の費用についてピックアップします。

💡 留学に必要な費用とは？

授業料

学習院大学への学費はp.3を参照してください。留学先の大学に払う学費としては、協定外留学の場合、国や地域・期間にもよりますが、50万～350万円ほどの授業料が必要になります。

宿舍費、食費、雑費などを含めた、月々の経費です。こちらも、国や地域により異なりますが、月5万～20万円ほどが必要です。

生活費

渡航費

往復で3万～20万円ほどがかかります。近年はLCC（格安航空会社）も増えていますが、利用する場合はサービスや保証がきちんとされているか確認しておいてください。また、渡航前に往復の航空券を予約する場合は、復路航空券の変更規定も確認が必要です。

留学時は、事件や事故、病気にかかる可能性に備え、海外旅行保険への加入が必須です。補償内容も会社により差がありますので、保険の適用範囲や内容に過不足がないようにしてください。また、留学期間がきちんとカバーされる保険に加入するようにしましょう。費用は5万～25万円ほどです。

保険代

＋α…
留学期間中、長期の休みに旅行をしたい場合などは、別途費用がかかります。

総額 70～600万円程度

💡 使用方法は？

●現金

カードが使えない場合などに備え、現金は多少持っておくと良さそうです。ただし、大金を持ち運ぶことはお勧めしませんので、金額が大きくなってしまった場合には、小分けして保管するようにしましょう。

●クレジットカード

近年は、多くの国で、カード払いが主流になっています。日本にいる時には持っていなかったという方も、1枚は作っておくと安心です。クレジットカードは、買い物をした翌月以降に金融機関口座から使用金額が引き落とされます。月々の利用上限設定もきちんと見直しましょう。

●デビットカード

クレジットカードと同様に、キャッシュレスのカード払い方法です。デビットカードの場合は、即時引き落としとなり、預金内の金額までしか支払えないため、使い過ぎを防止できます。

※カードを使用する場合、それぞれのカードが留学先で使用できるか事前にはリサーチすると同時に、カードを複数種類用意しておくとう安心です。

その他…

現地の人がよく使っているアプリをスマートフォンにダウンロードして使っていた、という方もいました。現地の友人たちと食事をするときなど、誰かがまとめて支払いをし、支払いをしてくれた人にアプリを通じて送金を行うといったことをしていたそうです。

資金計画はしっかり立てましょう。学習院大学では、留学のための奨学金もいくつか用意していますが、申請資格の条件もあり、申請しても必ずしも奨学金を得られるとは限りません。保護者の方とも相談しながら、無理のない計画にしてください。（留学のための奨学金情報の詳細については、p.27を参照してください。）

V 語学能力テスト

受験料の助成 (P.27) を行っていますので、活用してください。

1 テストの概要

英語

英語圏への留学には、ほとんどの場合、TOEFL iBTかIELTS (英国留学の場合はUKVI) のスコアが必要です。希望大学の出願条件や、それぞれの試験の違いを過去問題集などで確認し、自分に合ったテストを受験しましょう。

1) TOEFL iBT

受験情報については、下記のHPで確認のこと。

ETS TOEFL Home <https://www.ets.org/toefl.html>

TOEFLテスト日本事務局 <https://www.toefl-ibt.jp/>

| | |
|----------|--|
| 試験形式 | Reading、Listening、Speaking、Writingの4セクションで、テスト時間は約2時間。満点は120点 (各セクション30点)。テストセンターでコンピュータを使用し、インターネットを介して回答します。 |
| 申込方法・締切 | オンラインおよび電話 (通常7日前まで)、郵送 (一番早い受験希望日の4週間前必着) |
| 受験料 | 245 USドル (通常申込締切日後の申込手数料40 USドル) (令和6年3月現在) |
| 受験日・会場 | 年間約40回程度実施 (主に土・日曜日。1ヶ月に2~5回)。会場は上記HPで自宅に最寄りの場所を探ることができます。 |
| 結果 | スコアは、テスト日から約6日後にオンラインで確認できます。公式スコアレポートは試験日から約11日後に米国ETSから発送されます。 |
| スコアの有効期限 | 2年間 |

2) IELTS

受験情報については、下記のHPで確認のこと。

IELTS for UKVI (ブリティッシュ・カウンシル) <https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts-uk-visa-immigration>

IELTS (日本英語検定協会 ※IELTSの日本における実施団体) <https://www.eiken.or.jp/ielts/>

IELTS (JSAF ※IELTSの日本における実施団体) <https://jsaf-ieltsjapan.com>

| | |
|----------|--|
| 試験形式 | Listening (全40問、30分)、Reading (全40問、60分)、Writing (全2問、60分)、Speaking (11~14分) の4セクション。試験結果は1.0~9.0までの0.5刻みのバンドスコアで示されます。 |
| 申込方法・締切 | それぞれのHPで確認のこと。 |
| 受験料 | IELTS for UKVI 29,400円 IELTS 27,500円 (令和6年3月現在) |
| 受験日・会場 | 月2~4回程度 (東京会場の場合) 会場は上記HPで自宅に最寄りの場所を探ることができます。 |
| 結果 | 通常、筆記試験受験日から13日後にオンラインで確認できます。また、同日にTest Report Formが発行され、その後郵便で手元に届きます。 |
| スコアの有効期限 | 2年間 |

フランス語

1) DELF / DALF

フランス国民教育省認定フランス語資格 (ディプロム) で、DELF (A1~B2)、DALF (C1・C2) の6つのレベルがあり、それぞれ筆記試験 (聴解・読解・文書作成) と口頭表現試験があります。国内では年に2回 (春・秋)、実施されています。

2) TCF

フランス国民教育省認定フランス語資格試験で、DELF / DALF同様、A1~C2の6つのレベルがあります。

France Education International <https://delfdalf.jp/ja/diplomes-et-tests/tcf/>

ドイツ語－Goethe-Institut（ゲーテ・インスティテュート）の各検定試験

欧州評議会の定めた語学力評価基準・レベル（A1～C2の6段階）に合わせた各検定試験が用意されています。簡単なドイツ語が理解できるB1レベルの「Zertifikat Deutsch」、それより少し難しいB2レベルの「TestDaF」などがあります。

Goethe-Institut（ゲーテ・インスティテュート） <https://www.goethe.de/ins/jp/ja/spr/prf.html>

イタリア語－CILS

イタリア政府認定のイタリア語検定試験で、6つのレベルがあり、それぞれ、聞き取り、文法、読解、作文、会話の5技能を測る内容となっています。イタリア文化会館を通じて、受験できます。

イタリア文化会館 <https://iictokyo.jp/italian-prificiency-test/cils/>

中国語－漢語水平考試（HSK）

中国語圏への留学希望者や、中国語学習者向けの中国政府公認の検定試験。数ある中国語検定の中でも、世界で最も認知されています。聞き取り・読解・作文を内容とする筆記試験（1～6級）と放送内容の要約や朗読を内容とする口答試験（初級、中級、高級）があります。試験結果は、合否に加え、点数で示されます。

HSK <https://www.hskj.jp/>

韓国語－韓国語能力試験

韓国への留学希望者や、韓国語学習者向けの試験で、TOPIK I（1～2級：旧初級）・TOPIK II（3～6級：旧中級＋上級）に分かれており、試験結果により、1～6級の判定がなされます。国内では年に2回（春・秋）、実施されています。

韓国教育財団 <https://www.kref.or.jp/examination>

2 テスト対策

1) TOEFL iBT・IELTS 受験対策支援

国際センターでは、英語による留学の条件の一つであるTOEFL iBT・IELTS 試験に向けた参考図書を貸し出している他、TOEFLテスト攻略コース（e-learning による講座）およびIELTS対策講座（ネイティブによる講座）を開講しています。また、大学図書館にも、参考図書がありますので、活用してください。

2) 外国語教育研究センターの活用

自由にビデオ・DVD・コンピュータを活用して外国語の学習ができる「外国語自習室」が設けられています。また、語学関連のさまざまな教材や図書（雑誌、Graded Readers 等）、機器が用意されており、一部を除き貸し出しも行われています。

3) 学部独自の英語対策講座

学部によって、複数の著名な英会話学校の講座を格安で受講できます。詳細は各学部・学科事務室にお問い合わせください。

4) チャットルームへの参加

国際センターでは協定留学生や私費留学生など外国語のネイティブスピーカーと、彼らと話したい学生を対象にチャットルームを定期的実施しています（試験期間、長期休業期間を除く）。実施予定は国際センターホームページやG-Port、X（旧Twitter）等の各種SNSでお知らせします。

5) さくらアカデミーの語学関連講座

さくらアカデミーでは、各種資格・語学講座等、英語をはじめ、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、韓国語の講座も開講されています。キャンパス内での開講のため、通いやすい点もお勧めです。

6) 学習院霞会館イングリッシュ・セミナー

8月上旬に開催される、ネイティブ講師による4日間の集中英語講座です。学習院女子大学において開催されていますが、本学の学生も参加することができます。募集要項は6月中旬に公表されます。

7) 学習院女子大学 英語力養成講座

学習院の初等科から大学生までを対象として女子大学で開催される通年開講のTOEFL、IELTSなどの語学講座です。本学の学生も参加することができます。募集要項は4月上旬にHPで公表されます。

VI 留学情報提供機関

1 国際センター

留学しようと思ったとき、まず窓口となるのが国際センターです。

| | |
|--------|---|
| 場所 | 東1号館 1F |
| 開室時間 | 月～金曜日 8:40～16:45 土曜日 8:40～12:30 |
| ホームページ | https://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/ 協定留学プログラムや学内外奨学金の各募集案内、イベントの情報などは、ホームページでもお知らせしていますので、留学を考えている人は定期的にチェックしてください。留学や外国人留学生のための情報を始め、協定校のホームページや役に立つサイトへのアクセスもできるようになっています。 |

国際センターでは、以下のようなサービスを行っています。

| | |
|------|---|
| 留学相談 | 留学・研修・交流等に関する質問・相談への対応 |
| 情報提供 | ・協定校および協定留学プログラムに関する情報 ・留学・海外研修に関する情報 ・国際交流に関する情報 |
| 主催行事 | ・留学希望者オリエンテーション：毎年4月、新入生を対象に、国際センターの紹介、本学の海外留学制度、留学に関する基本的な情報についての説明会を行っています。 ・留学説明会：協定留学プログラムや海外短期研修に関する説明会を年に複数回開催しています。 ・留学フェア：留学希望者、留学経験者が交流できる場として、春と秋に開催しています。 |
| 学内交流 | ・国際センターボランティアの募集：国際交流行事の手伝いや協定留学生のバディ等に参加できますので、学内における国際交流の場として、留学希望者は積極的に参加してください。 ・チャットルームの開催：外国語をアウトプットする場として、留学生を交えて話す機会を定期的に提供しています。留学経験者だけでなく、語学に興味のある方であれば誰でも自由に参加できます（試験期間・長期休業期間を除く）。 ・留学生ホームステイ事業、ホストファミリーの募集 |

2 学外の機関

以下で紹介するのは、安心して利用できる公的機関です。ホームページはそれぞれ情報が充実しており、留学についての概要が掴めるようになっています。

なお、上記の国際センターホームページからも、各機関のホームページへのリンクが参照できます。

1 留学に関する総合情報

日本学生支援機構（JASSO）「海外留学支援サイト」<https://ryugaku.jasso.go.jp/>

留学について考え始めたら、このサイトをチェックしましょう。

留学計画や準備についての指南、公的機関の奨学金情報、各国への留学の手引きなど、留学についての基本情報が網羅されています。

ガイドブック「私がつくる海外留学」<https://ryugaku.jasso.go.jp/publication/guidebook/>

海外留学よくあるご質問 <https://ryugaku.jasso.go.jp/faq/>

海外留学のための奨学金 <https://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>

2 国別留学情報

| 国名 | 情報提供機関 | URL |
|----------|---|---|
| 各国 | 文部科学省「トビタテ！留学JAPAN」 | https://www.tobitate-mext.jasso.go.jp |
| アメリカ | 日米教育委員会・米国大使館「Education USA」 | https://www.fulbright.jp/study/ |
| イギリス | ブリティッシュ・カウンシル「Study UK」 | https://study-uk.britishcouncil.org/ |
| ドイツ | ドイツ学術交流会（DAAD） | https://www.daad.jp/ja/ |
| フランス | Campus France（フランス政府留学局）日本支局 | https://www.japon.campusfrance.org/ |
| イタリア | イタリア文化会館 東京「Study in Italy」 | https://studyinitaly.jp/ |
| エストニア | 「Study in Estonia」 | https://studyinestonia.ee |
| 中国 | 中華人民共和国駐日本国大使館 | http://jp.china-embassy.gov.cn/jpn/ |
| 台湾 | 台湾教育省「Study in Taiwan」 | https://www.studyintaiwan.org |
| 韓国 | Ministry of Foreign Affairs Republic of Korea | https://www.mofa.go.kr/eng/wpge/m_5719/contents.do |
| オーストラリア | 「Study Australia」 | https://www.studyaustralia.gov.au |
| ニュージーランド | ニュージーランド留学 | https://www.studywithnewzealand.govt.nz/jp/a |

3 その他

1 外務省「海外安全ホームページ」

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

国別・地域別の最新スポット情報・危険情報（渡航情報）、安全対策基礎データ（犯罪事情、風俗・習慣、査証・出入国審査、滞在時の留意事項、健康、緊急時の連絡先など）。国・地域の別を問わず、海外旅行にあたっての注意や感染症の情報も見るすることができます。

2 外務省「各国・地域情勢」

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/>

各国の地理的な統計情報から政治、経済、日本との関係など、当該国の網羅的な情報を知ることができます。

3 厚生労働省検疫所「海外旅行者のための感染症情報」

<https://www.forth.go.jp/index.html>

病気予防のための注意、国・地域別の感染症別情報、予防接種情報など、旅行前・旅行中・旅行後にわたっての参考情報を紹介。

VII 渡航後の注意

1 外務省による渡航登録サービス

1 在留届

旅券法第16条により、外国に住所を定めて3ヶ月以上滞在する場合は、現地の在外公館（日本大使館、領事館等）に「在留届」を提出するよう義務づけられています。

在外公館は、「在留届」により該当者が現地に居住していることを把握しています。「在留届」が提出されていれば、大災害や事件、事故が起きた時の安否確認や留守宅への連絡が迅速に行えます。

なお、事故がない場合でも、家族等への定期的な連絡を心がけてください。

| | |
|--------|--|
| 提出時期 | 現地に到着後、実際にその場所に居住し始めてから |
| 提出方法 | ・ ORR Net インターネットによる提出 (https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html) ・ 「在留届」の用紙を現地の在外公館へ持参、郵送又はファックス |
| 用紙の入手先 | 都道府県旅券窓口、留学先の管轄在外公館、 ダウンロード (https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/image/zairyu.pdf) |

2 たびレジ

3カ月未満の渡航を予定している場合は、外務省海外旅行登録「たびレジ」に登録してください。登録は任意ですが、登録すると、旅行先在外公館の連絡先や、旅行先国の渡航情報が見られたり、在外公館が出す緊急一斉通報や、最新渡航情報メールを受け取ったりすることができます。また、旅行先の国・地域で緊急事態が発生した時には、登録した電話番号や、宿泊先を基に、緊急時の連絡が行われます。

| | |
|------|---|
| 登録時期 | パスポート番号や旅行日程が決まってから。海外から登録することも可能。 |
| 登録方法 | https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html |

2 安全対策

前述の、外務省「海外安全ホームページ」(<https://www.anzen.mofa.go.jp>)にて、国別・地域別の最新スポット情報・危険情報、安全対策基礎データを見ることができます。

具体的な事例で気をつけるポイントを学べる、動画コンテンツ「海外安全劇場」、事例集「海外邦人事件簿」などがおすすめです。

また、次ページに「協定留学プログラム」の派遣前オリエンテーションで使用している「派遣学生の手引き」から、留学中の5大原則を転載します。安全対策は、「完璧」などということはありません。留学先で必ずしも危険な目に遭うとは限りませんが、常に安全対策を念頭に、責任ある行動をとり、実りある留学生活を送ってください。

なお、国際センターでは協定留学、国際センター主催の短期研修等による派遣学生を危機管理システムであるOSSMAに加入させ、海外滞在時の安全管理を行っています。協定外留学（国際社会科学部を除く）、休学による留学派遣学生の危機管理システムの加入については、学生センター教務課に確認してください。

▷「自己防衛」という姿勢を徹底する

誰かが自分の身の安全を保障してくれるということはありません。「自分の身は自分で守る」が原則です。

例えば、夜間1人で歩かない、部屋のドアをロックされても、相手が誰か確認するまでは不用意に開けないなど（相手が気を悪くするのではないかなどといった気遣いは一切無用です）、自ら招く危険は最小限におさえるように注意することです。「自分だけは大丈夫」という根拠のない自信は捨て、クールに行動してください。

▷絶えず緊張感を持つ

外出時には絶えず緊張感を忘れず、人気のない所ではもちろん、特に人ごみでは、隙を見せ標的にならないよう、気をつけてください。

日本では見知らぬ人同士がすれ違う時に身体がぶつかり合うような場面はよく見られますが、海外では、見知らぬ人が接近してくる場合、思わぬ犯罪に巻き込まれる危険性もあります。相手の行動に敏感になりましょう。

▷情報収集に努める

現地の人々が当たり前と思っている情報、例えば、昼間でも危険なので1人出歩いてはいけない地域や場所についてなど、外国人は知らない場合があります。

このような情報から取り残されることがないように、どんな小さなことでも、現地の人や現地に詳しい日本人に、臆せず聞いてください。何か起きてから人を責めても、「知っていると思った」と言い捨てられるのが関の山です。

友人や地域の人々と良い関係を持ち、新聞やテレビからの情報収集も積極的に行いましょう。

▷郷に入っては郷に従え

留学先では周りの人々の行動や習慣をよく観察し、現地の人々と同じように行動するようにしましょう。例えば、現地の人々と同じ時間帯に行動したり、現地の人々が近づかないところには近づかないなど、湧き上がる好奇心に流されないようにすることが大切です。また、服装や行動なども現地の学生に合わせ、現地の人々に溶け込んだ生活を送ることが肝要です。

▷自分自身を客観的に見る目を持つ

犯罪者の目線自分自身を観察してください。

相手に隙を見せる格好をしていないか、現地の人々があまり持っていないような高価なブランド物や年齢不相応な持ち物を持っていないか、髪型や化粧、服装は華美で挑発的ではないか、お金の使い方が派手だったり、必要以上にお金を持っていたりしないかなど、もしあなたが犯罪者なら、あなたのどこを狙うか、チェックしてみてください。犯罪者から目をつけられにくい行動、服装を心がけましょう。

VIII 留学経験を活かすために

留学経験を風化させず、今後活かしていくことが、真に留学を成功させたと言えます。以下のような点を参考に留学経験をブラッシュアップしてください。

- ・ 留学経験の総括—留学の目的と達成度、留学先で得たもの等を基に振り返りを行い、自分なりの留学経験の活かし方を考えましょう。
- ・ 語学力の継続—語学能力試験にチャレンジするなど手段を工夫し、留学で身に付けた語学力にさらに磨きをかけましょう。
- ・ 異文化体験の活用—留学経験で養った異文化コミュニケーション能力を活かし、例えばボランティア活動等にチャレンジしましょう。
- ・ 学内の語学対策講座や国際センターで実施しているチャットルーム等（P.32）も活用してください。

Ⅸ 直近の留学者数

1)、2) は学籍上の留学。留学願いの提出者数を集計している。

1) 学部・研究科別留学者数

| 学部 | 学科 | 年度 | '19 | '20 | '21 | '22 | '23 | 合計 |
|------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 法 | 法 | 4 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| | 政治 | 6 | 1 | 3 | 5 | 5 | 20 | |
| 経 | 経済 | 1 | 1 | 1 | 3 | 6 | 12 | |
| | 経営 | 4 | 0 | 0 | 3 | 4 | 11 | |
| 文 | 哲学 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | |
| | 史学 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| | 日本語日本文 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | 英語英米文化 | 3 | 1 | 0 | 6 | 3 | 13 | |
| | ドイツ語圏文化 | 4 | 0 | 1 | 3 | 2 | 10 | |
| | フランス語圏文化 | 10 | 0 | 1 | 6 | 1 | 18 | |
| | 心理 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 | |
| | 教育 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 理 | 物理 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 化学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 数学 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 生命科学 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 国 | 国際社会科学 | 98 | 5 | 17 | 98 | 117 | 335 | |
| 小計 | | 134 | 9 | 24 | 126 | 141 | 434 | |

| 研究科 | 専攻 | 年度 | '19 | '20 | '21 | '22 | '23 | 合計 |
|------|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | 法 | 法律学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 政 | 政治学 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | |
| 済 | 経済学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 営 | 経営学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 人文科学 | 哲学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 美術史学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 史学 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | |
| | 日本語日本文学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 英語英米文学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | ドイツ語ドイツ文学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | フランス文学 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | 心理学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 臨床心理学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 教育学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | アーカイブズ学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | |
| | 身体表象文化学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 自然科学 | 物理学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 化学 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 数学 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 生命科学 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 小計 | | 2 | 0 | 0 | 2 | 3 | 7 | |
| 合計 | | 136 | 9 | 24 | 128 | 144 | 441 | |

2) 国・地域別留学者数

| 国名 | 年度 | '19 | '20 | '21 | '22 | '23 | 合計 |
|----------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 韓国 | | 3 | 0 | 1 | 6 | 5 | 15 |
| 中国 | | 5 | 0 | 1 | 0 | 3 | 9 |
| 台湾 | | 6 | 3 | 0 | 5 | 6 | 20 |
| タイ | | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 |
| フィリピン | | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| マレーシア | | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| オーストラリア | | 16 | 5 | 0 | 13 | 23 | 57 |
| ニュージーランド | | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 4 |
| カナダ | | 16 | 0 | 0 | 29 | 23 | 68 |
| アメリカ | | 44 | 1 | 1 | 34 | 36 | 116 |
| アイスランド | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| ノルウェー | | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 | 5 |
| イギリス | | 9 | 0 | 11 | 8 | 12 | 40 |
| アイルランド | | 7 | 0 | 0 | 8 | 9 | 24 |
| ドイツ | | 5 | 0 | 2 | 3 | 3 | 13 |
| フランス | | 11 | 0 | 2 | 9 | 3 | 25 |
| イタリア | | 2 | 0 | 2 | 3 | 4 | 11 |
| オーストリア | | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 4 |
| スペイン | | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 |
| エストニア | | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 4 |
| リトアニア | | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 3 |
| デンマーク | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ヨルダン | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ポーランド | | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 3 |
| 香港 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| マルタ共和国 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 |
| マルタ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| アラブ首長国連邦 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| コロンビア | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 合計 | | 136 | 9 | 24 | 128 | 144 | 441 |

※ 同一留学先へ1年を超えて留学している者については、2年目以降は含めない。

※ 2020、2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインによる受講者を含む。

3) 渡航先国別「海外短期研修奨学金」(P.27) 受給者数

| 国名 | 年度 | '19 | '20 | '21 | '22 | '23 |
|----------|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 韓国 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| 中国 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 台湾 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| フィリピン | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| ベトナム | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| インド | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| シンガポール | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| マレーシア | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| オーストラリア | | 0 | 22 | 29 | 12 | 25 |
| ニュージーランド | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| カナダ | | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| アメリカ | | 0 | 0 | 0 | 12 | 1 |
| イギリス | | 12 | 0 | 0 | 1 | 42 |
| アイルランド | | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| ドイツ | | 26 | 0 | 0 | 0 | 20 |
| エストニア | | 7 | 0 | 0 | 0 | 17 |
| フランス | | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| オーストリア | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| マルタ | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| スペイン | | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 合計 | | 48 | 22 | 29 | 25 | 129 |

※ 2020、2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン研修の参加者のみを対象とした。

※ 2023年度は申請者数。

参考：2023年度時点で協定留学派遣の募集を行っていない協定校（大学間）リスト

| 地域 | No | 国 | 大学名 | 協定締結日 |
|-------|----|----------|---------------------|------------|
| ア ジ ア | 1 | 中国 | 復旦大学 | 1992. 5.26 |
| | 2 | 中国 | 清華大学 | 2012.10.10 |
| | 3 | 中国 | 北京郵電大学 | 2014. 3.31 |
| | 4 | 台湾 | 国立交通大学 | 2016. 9.20 |
| | 5 | 韓国 | 啓明大学校 | 1995. 2.10 |
| | 6 | タイ | アサンプション大学 | 2013.12. 4 |
| | 7 | マレーシア | マラ工科大学 | 2020. 2.12 |
| | 8 | マレーシア | マレーシア科学大学 | 2023. 8.22 |
| | 9 | モンゴル | ドルノド大学 | 2019. 7.24 |
| | 10 | インドネシア | サムラトランギ大学 | 2016. 9.26 |
| | 11 | インドネシア | アイルランガ大学 | 2018. 1.26 |
| オセアニア | 12 | オーストラリア | エディスコーワン大学 | 2023.12.11 |
| | 13 | オーストラリア | ディーキン大学 | 2024. 1. 1 |
| | 14 | ニュージーランド | ウェリントン・ヴィクトリア大学 | 1998. 7.31 |
| 北 米 | 15 | アメリカ | ノースカロライナ州立大学シャーロット校 | 1992. 3.30 |
| | 16 | アメリカ | ライス大学 | 1994. 1.21 |
| | 17 | アメリカ | オハイオ・ウエスレヤン大学 | 2014. 1.20 |
| | 18 | アメリカ | カリフォルニア州立大学フラトン校 | 2015. 4. 9 |
| | 19 | アメリカ | ウェスタン・ミシガン大学 | 2015.11.18 |
| | 20 | アメリカ | ミズーリ州立大学 | 2020. 2.18 |
| | 21 | アメリカ | バージニア大学ワイズカレッジ | 2021. 2.24 |
| | 22 | アメリカ | テネシー大学ノックスビル校 | 2022. 3.22 |
| | 23 | アメリカ | サンフランシスコ州立大学 | 2023. 8.13 |
| | 24 | アメリカ | ハワイ大学マノア校 | 2024. 2. 5 |
| | 25 | カナダ | ウェスタン・オンタリオ大学 | 2015. 3.10 |
| | 26 | カナダ | プリンスエドワードアイランド大学 | 2022. 7. 5 |
| ヨーロッパ | 27 | イギリス | ロンドン大学LSE | 1981.11.24 |
| | 28 | イギリス | ヨーク大学 | 1991. 4.16 |
| | 29 | イギリス | サセックス大学 | 1992. 2.24 |
| | 30 | イギリス | ランカスター大学 | 1992. 5. 5 |
| | 31 | イギリス | レディング大学 | 1992. 5. 7 |
| | 32 | スペイン | アルカラ大学シスネロス校 | 2012. 5. 4 |
| | 33 | スペイン | バレンシア大学 | 2015. 2. 6 |
| | 34 | スペイン | オビエド大学 | 2018. 4.25 |
| | 35 | スペイン | アルカラ大学 | 2020.10.30 |
| | 36 | ロシア | サハリン国立総合大学 | 2017.12.29 |

表紙写真：2023年度国際センター写真コンテスト特別賞

撮 影：理学部 化学科 西村 祐太（撮影地 オーストラリア）